滋賀県内主要産業動向調査
（2020年度下半期）

【目次】

1.繊維…P.3
2.化学…P.8
3.食料品…P.13
4.金属製品…P.18
5.一般機械…P.23
6.電気機械…P.28
7.建設…P.33
8.小売…P.40
9.運輸・通信…P.47
10.サービス…P.53
【参考データ】…P.59

2021年2月

㈱しがぎん経済文化センター
（産業・市場調査部）

総合評価

天気マークによる評価（業況判断DI）

業種名	現状 (20/10-12)	見通し (21/1-3)
繊維	☂	☂
化学	🌦	🌦
食料品	🌦	🌦
金属製品	☁	🌦
一般機械	🌦	☂
電気機械	🌦	🌦
建設	☁	🌦
小売	🌦	🌦
運輸・通信	🌦	🌦
サービス	🌦	🌦

【参考】天気マークの概要

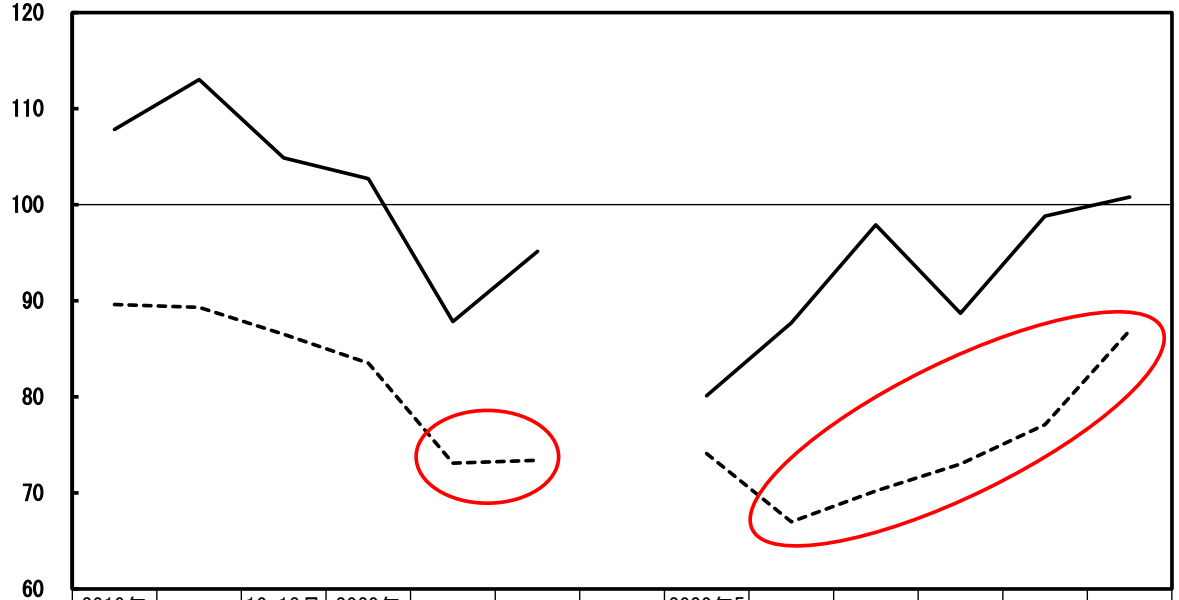
		参考ＤＩ指数
晴れ	☀	61～100
薄日	⛅	21～60
曇り	☁	▲20～20
小雨	🌦	▲21～▲60
雨	☂	▲61～▲100

1.繊維

現状分析：低水準ながら、2020年6月を底に回復傾向

・滋賀県統計課が毎月集計、公表している「滋賀県鉱工業指数」（2020年10月速報）によると、「繊維工業」の生産指数は従来からの低迷状態に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から2020年7－9月期は低水準の横ばいにとどまっている（73.4、前期比＋0.4％）。最近の動きをみると、**水準は引き続き低いものの（10月：86.9）、6月（67.0）を底に上昇に転じ、回復傾向がみられる。**

業種別の鉱工業生産指数の推移【繊維】（季調済指数、2015年＝100）

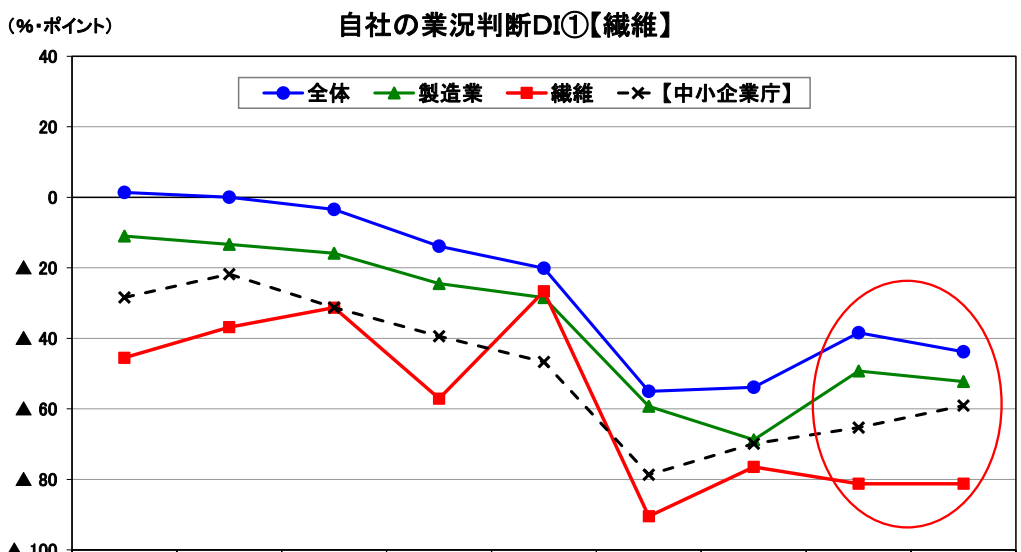


	2019年4-6月期	7-9月期	10-12月期	2020年1-3月期	4-6月期	7-9月期		2020年5月	6月	7月	8月	9月	10月
━━ 鉱工業総合	107.8	113.0	104.9	102.7	87.8	95.1		80.1	87.7	97.9	88.7	98.8	100.8
---- 繊維	89.6	89.3	86.5	83.5	73.1	73.4		74.1	67.0	70.2	73.0	77.1	86.9

1.繊維

アンケート調査分析①：自社の業況判断DI

- 今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「繊維」（n=16）は**▲81となり、前期（7－9月期、▲76）よりさらに低下し、悪化が続いている。**
- 一方、中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「繊維」（n=404）は▲65.3となり、前期（▲69.9）に比べ上昇したものの低水準で推移。なお、水準は県内企業のDIのほうが低い。
- 来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業は横ばい（▲81）**、一方、中小企業景況調査では上昇するも、引き続き低水準（▲59.1）。

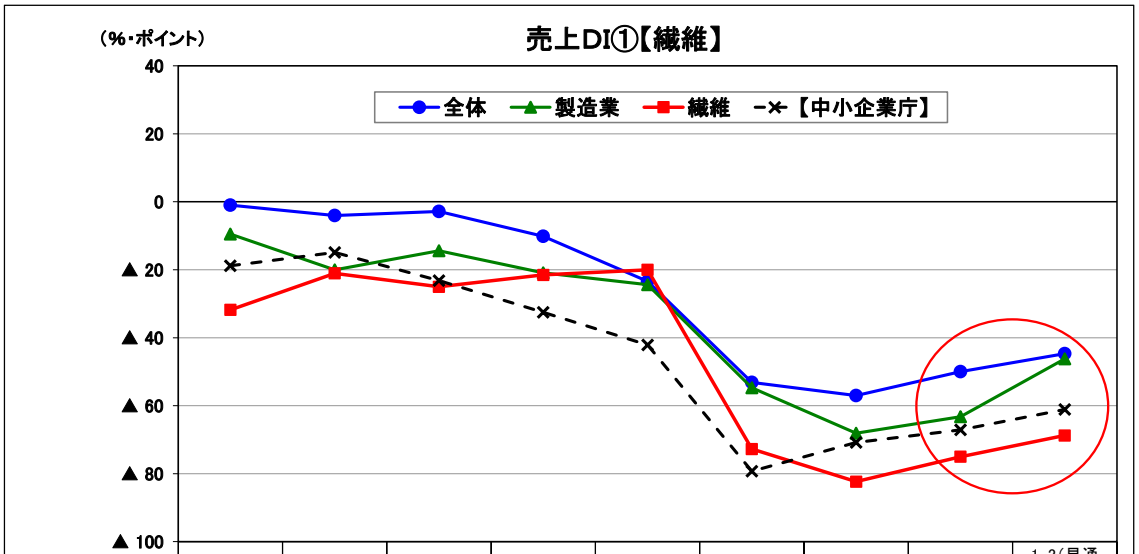


	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
全体	1	0	▲ 3	▲ 14	▲ 20	▲ 55	▲ 54	▲ 38	▲ 44
製造業	▲ 11	▲ 13	▲ 16	▲ 24	▲ 28	▲ 59	▲ 69	▲ 49	▲ 52
繊維	▲ 46	▲ 37	▲ 31	▲ 57	▲ 27	▲ 90	▲ 76	▲ 81	▲ 81
【中小企業庁】	-28.4	-21.8	-31.3	-39.4	-46.7	-78.7	-69.9	-65.3	-59.1

1.繊維

アンケート調査分析②：売上DI

- 今期(20年10－12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲75となり、前期(7－9月期、▲82)を底に、やや上昇したが、厳しい状況が続いている。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲67.1となり、20年4－6月期(▲79.3)を底にして緩やかに上昇しているものの引き続き低水準。なお、水準は県内企業のDIのほうが低い。
- 来期(21年1－3月期)の見通しをみると、**県内企業はやや上昇(▲69)**、中小企業景況調査でもやや上昇(▲61.1)。



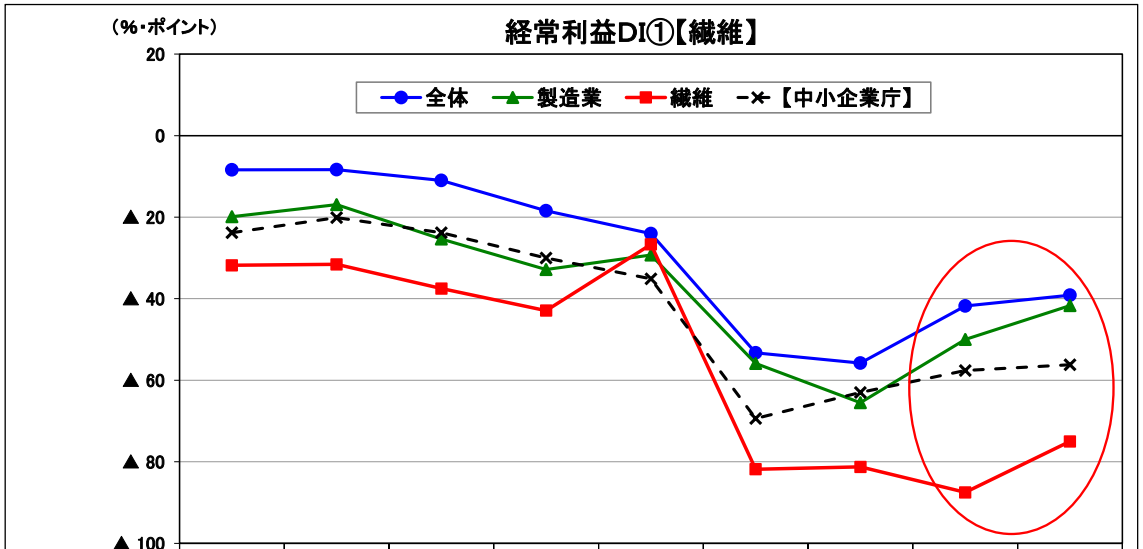
	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3(見通し)
全体	▲ 1	▲ 4	▲ 3	▲ 10	▲ 23	▲ 53	▲ 57	▲ 50	▲ 45
製造業	▲ 10	▲ 20	▲ 14	▲ 21	▲ 24	▲ 55	▲ 68	▲ 63	▲ 46
繊維	▲ 32	▲ 21	▲ 25	▲ 22	▲ 20	▲ 73	▲ 82	▲ 75	▲ 69
【中小企業庁】	-18.8	-14.9	-23.2	-32.5	-42.1	-79.3	-70.8	-67.1	-61.1

アンケート調査分析③:経常利益DI

・今期(20年10－12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲88となり、再び低下し、極めて厳しい状況が続いている。**

・一方、中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲57.6となり、緩やかに上昇している。これも水準は県内企業のDIのほうが低い。

・来期(21年1－3月期)の見通しをみると、**県内企業は低水準ながら上昇するも(▲75)**、中小企業景況調査では横ばい(▲56.2)。



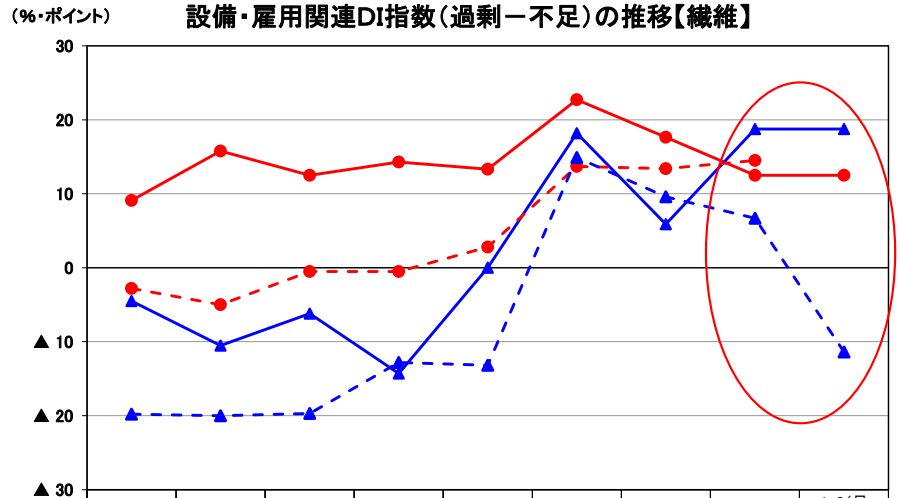
	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3(見通し)
全体	▲ 8	▲ 8	▲ 11	▲ 18	▲ 24	▲ 53	▲ 56	▲ 42	▲ 39
製造業	▲ 20	▲ 17	▲ 25	▲ 33	▲ 29	▲ 56	▲ 66	▲ 50	▲ 42
繊維	▲ 32	▲ 32	▲ 38	▲ 43	▲ 27	▲ 82	▲ 81	▲ 88	▲ 75
【中小企業庁】	-23.8	-20.1	-23.8	-30	-35.1	-69.4	-63	-57.6	-56.2

1.繊維

アンケート調査分析④：設備・雇用関連DI

・**「生産・営業用設備DI」**の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**13となり、過剰感は4－6月期をピークに和らいでいる。**中小企業庁の「中小企業景況調査」では14.5となり、過剰感がやや強まった。来期（21年1－3月期）の見通しをみると、県内企業の過剰感は横ばい（13）。

・**「雇用人員DI」**の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**19となり、前期（6）に比べると過剰感は強まった**が、中小企業庁の「中小企業景況調査」では6.7となり、過剰感は弱まった。来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業の過剰感は横ばいだが（13）、**中小企業景況調査では4四半期ぶりに不足感がみられる（▲11.4）。



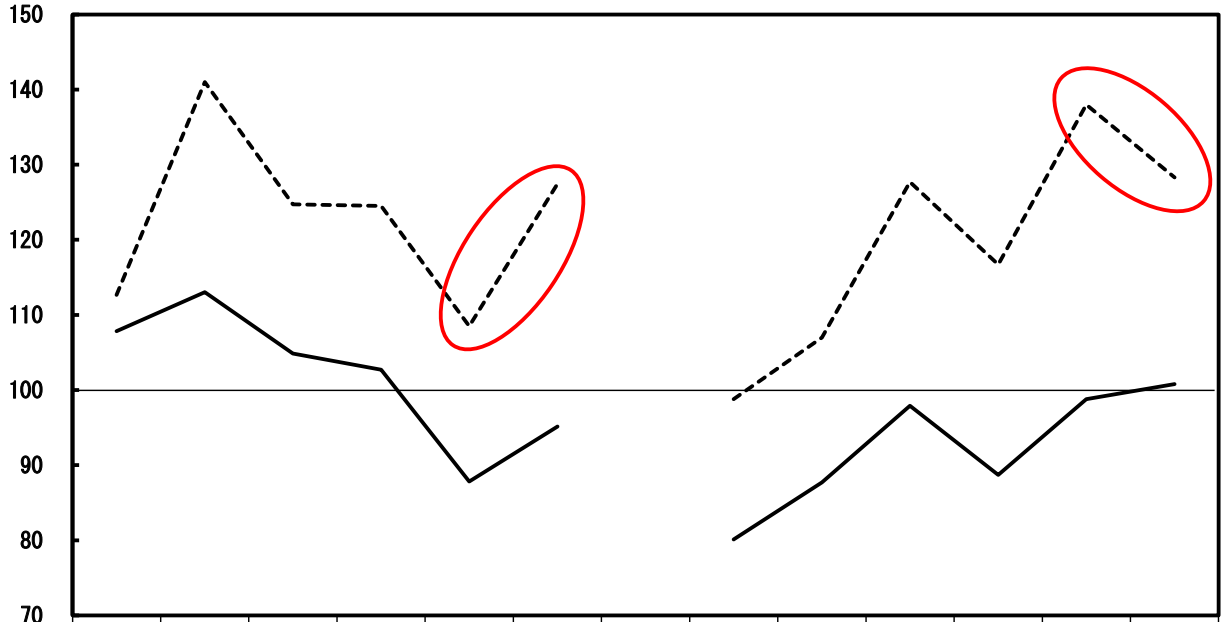
	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
生産・営業用設備DI	9	16	13	14	13	23	18	13	13
雇用人員DI	▲ 5	▲ 11	▲ 6	▲ 14	0	18	6	19	19
【中小企業庁】生産設備DI	−2.8	−5	−0.5	−0.5	2.8	13.7	13.4	14.5	
【中小企業庁】従業員数DI	−19.8	−20	−19.7	−12.8	−13.2	14.9	9.6	6.7	−11.4

2.化学

現状分析：水準は新型コロナ前を上回り、徐々に回復

・滋賀県統計課が毎月集計、公表している「滋賀県鉱工業指数」（2020年10月速報）によると、「化学工業」の生産指数は新型コロナウイルスの感染拡大の影響から2020年4－6月期に大きく低下したものの（108.5、前期比－12.9%）、7－9月期には回復し、**新型コロナ前（20年10－12月期、124.7）の水準を上回った。**最近の動きをみると、一進一退で推移しているが、**水準は徐々に回復している。**

業種別の鉱工業生産指数の推移【化学】（季調済指数、2015年＝100）

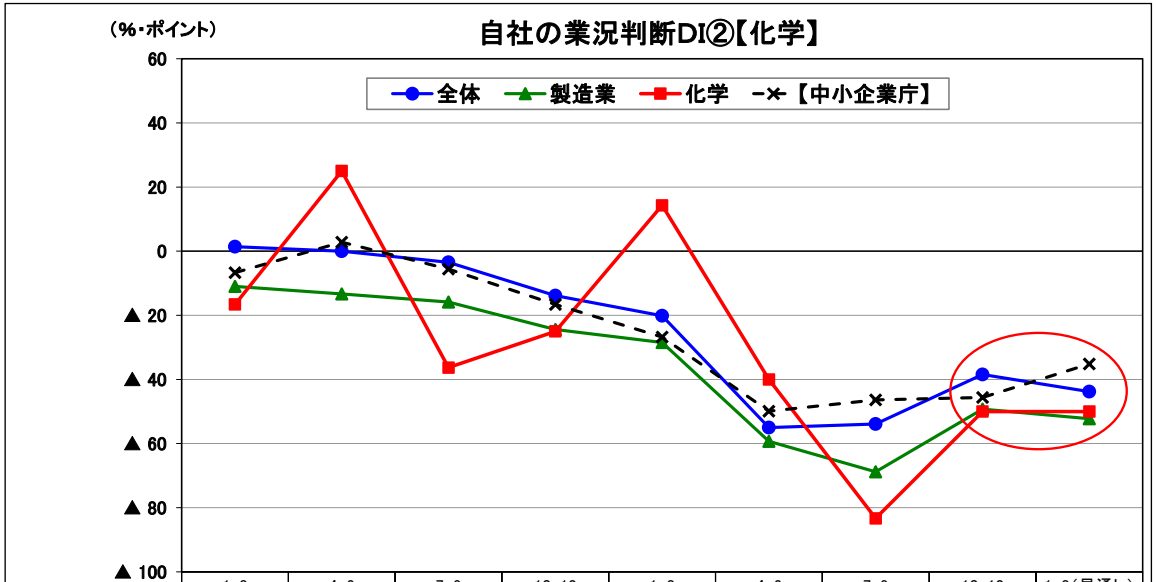


	2019年4-6月期	7-9月期	10-12月期	2020年1-3月期	4-6月期	7-9月期		2020年5月	6月	7月	8月	9月	10月
━━鉱工業総合	107.8	113.0	104.9	102.7	87.8	95.1		80.1	87.7	97.9	88.7	98.8	100.8
----化学	112.7	141.0	124.7	124.5	108.5	127.5		98.8	107.0	127.7	116.7	138.0	128.3

2.化学

アンケート調査分析①：自社の業況判断DI

- 今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「化学」（n=8）は**▲50となり、前期（7－9月期、▲83）を底に大きく上昇したものの、水準は低い。**
- 一方、中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「化学」（n=68）は▲45.6となり、前期（▲46.4）に比べ横ばいで推移している。なお、水準は県内企業のDIのほうが低い。
- 来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業は横ばい（▲50）**、中小企業景況調査ではやや上昇するも、引き続き低水準（▲35.2）。

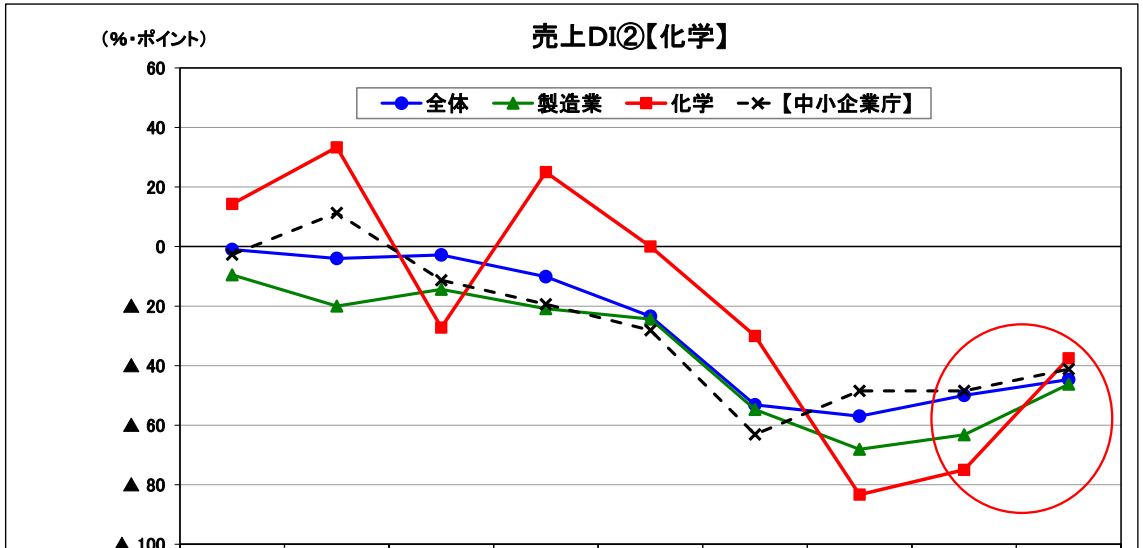


	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
全体	1	0	▲ 3	▲ 14	▲ 20	▲ 55	▲ 54	▲ 38	▲ 44
製造業	▲ 11	▲ 13	▲ 16	▲ 24	▲ 28	▲ 59	▲ 69	▲ 49	▲ 52
化学	▲ 17	25	▲ 36	▲ 25	14	▲ 40	▲ 83	▲ 50	▲ 50
【中小企業庁】	-6.7	2.8	-5.6	-16.6	-26.8	-49.9	-46.4	-45.6	-35.2

2.化学

アンケート調査分析②：売上DI

- 今期(20年10－12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲75となり、前期(7－9月期、▲83)を底に、やや上昇したが、厳しい状況が続いている。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲48.5となり、20年4－6月期(▲63.1)を底にして緩やかに上昇しているものの引き続き低水準。なお、水準は県内企業のDIのほうが低い。
- 来期(21年1－3月期)の見通しをみると、**県内企業は大きく上昇(▲38)**、中小企業景況調査ではやや上昇するも、引き続き低水準(▲41.2)。



	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3(見通し)
全体	▲ 1	▲ 4	▲ 3	▲ 10	▲ 23	▲ 53	▲ 57	▲ 50	▲ 45
製造業	▲ 10	▲ 20	▲ 14	▲ 21	▲ 24	▲ 55	▲ 68	▲ 63	▲ 46
化学	14	33	▲ 27	25	0	▲ 30	▲ 83	▲ 75	▲ 38
【中小企業庁】	-2.7	11.3	-11.3	-19.4	-28.1	-63.1	-48.5	-48.5	-41.2

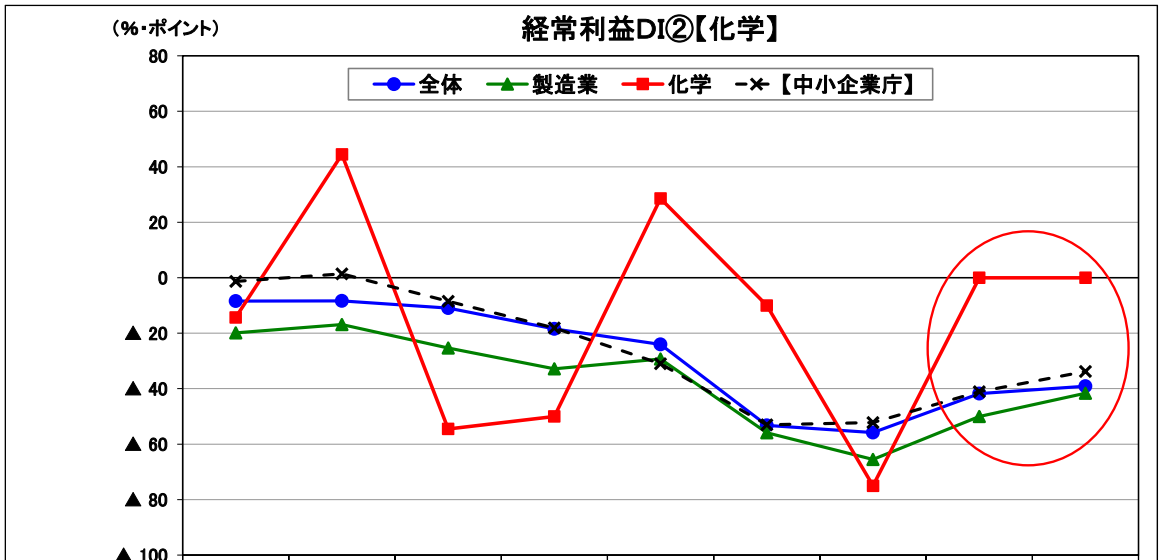
2.化学

アンケート調査分析③:経常利益DI

・今期(20年10－12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**0(ゼロ)となり、前期(▲75)から大きく回復した。**

・しかし、中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲41.1となり、緩やかに上昇している。水準は県内企業のDIのほうが高い。

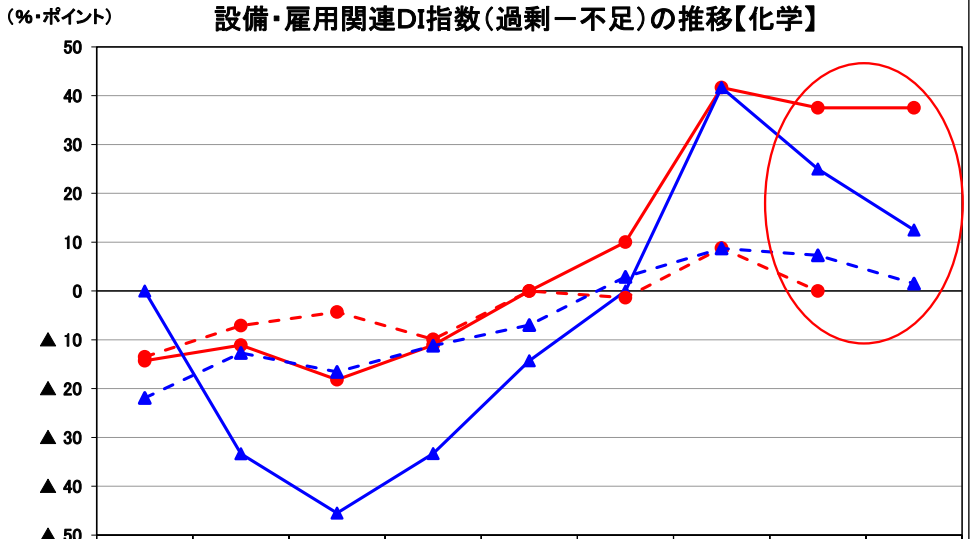
・来期(21年1－3月期)の見通しをみると、**県内企業は横ばい(0)**で推移し、中小企業景況調査では3四半期連続で回復(▲33.8)。



	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3(見通し)
全体	▲ 8	▲ 8	▲ 11	▲ 18	▲ 24	▲ 53	▲ 56	▲ 42	▲ 39
製造業	▲ 20	▲ 17	▲ 25	▲ 33	▲ 29	▲ 56	▲ 66	▲ 50	▲ 42
化学	▲ 14	44	▲ 55	▲ 50	29	▲ 10	▲ 75	0	0
【中小企業庁】	-1.3	1.4	-8.5	-18.1	-31	-53	-52.2	-41.1	-33.8

アンケート調査分析④：設備・雇用関連DI

- **「生産・営業用設備DI」**の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**38となり、過剰感は前期（42）に比べやや弱まった。**中小企業庁の「中小企業景況調査」では0（ゼロ）となり、過剰感はなくなった。来期（21年1－3月期）の見通しをみると、県内企業の過剰感は横ばい（38）。
- **「雇用人員DI」**の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**25となり、前期（42）に比べると過剰感は弱まった。**中小企業庁の「中小企業景況調査」では7.3となり、過剰感はやや弱まった。来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業の過剰感はさらに弱まり（13）、**中小企業景況調査でも過剰感は一層弱まる（1.5）。



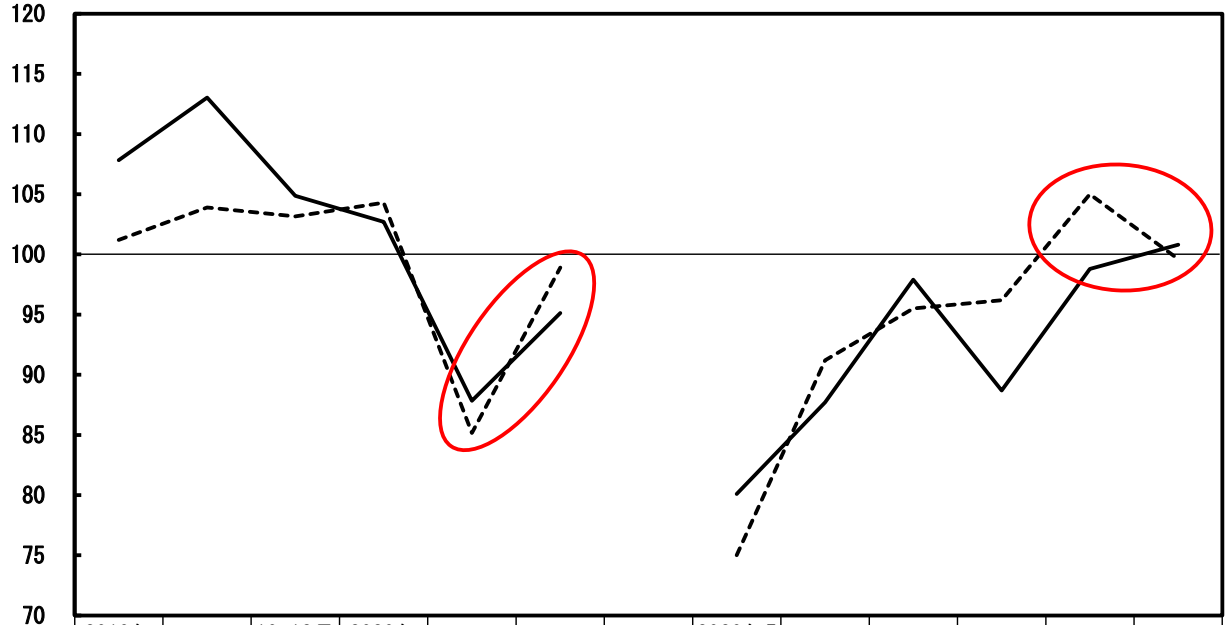
	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
生産・営業用設備DI	▲ 14	▲ 11	▲ 18	▲ 11	0	10	42	38	38
雇用人員DI	0	▲ 33	▲ 46	▲ 33	▲ 14	0	42	25	13
【中小企業庁】生産設備DI	−13.5	−7.1	−4.3	−9.9	0	−1.4	8.8	0	
【中小企業庁】従業員数DI	−21.9	−12.7	−16.6	−11.2	−7	2.9	8.7	7.3	1.5

3.食料品

現状分析：水準は徐々に回復

・滋賀県統計課が毎月集計、公表している「滋賀県鉱工業指数」（2020年10月速報）によると、「食料品工業」の生産指数は新型コロナウイルスの感染拡大の影響から2020年4－6月期に大きく低下したものの（85.2、前期比－18.3%）、7－9月期には回復した（98.9、同＋16.1%）。ただ、依然、100の水準を下回っている。最近の動きをみると、9月には100の水準を上回るなど、**水準は徐々に回復している。**

業種別の鉱工業生産指数の推移【食料品】（季調済指数、2015年＝100）

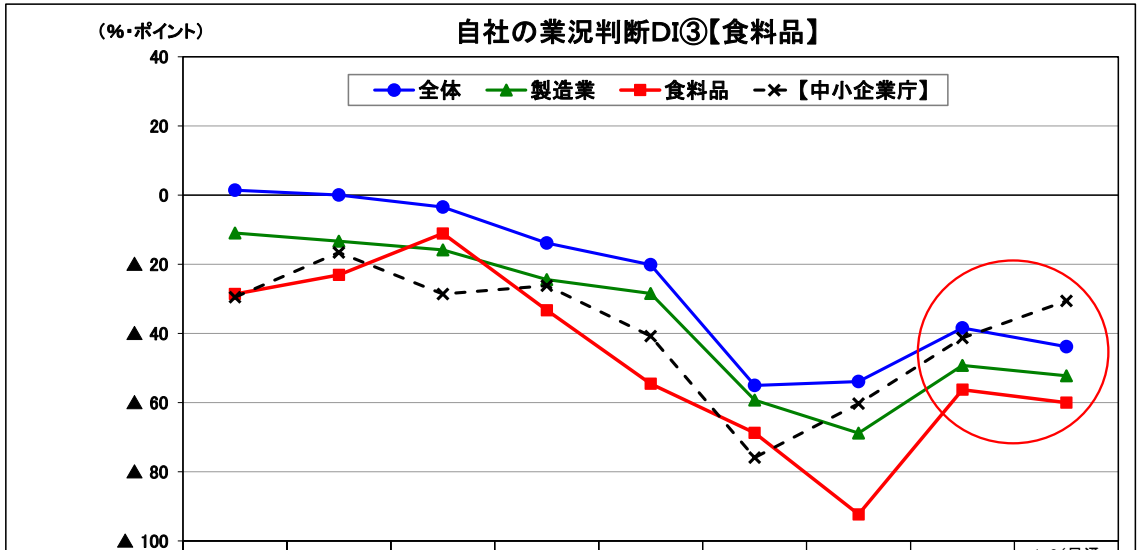


	2019年4-6月期	7-9月期	10-12月期	2020年1-3月期	4-6月期	7-9月期		2020年5月	6月	7月	8月	9月	10月
━━ 鉱工業総合	107.8	113.0	104.9	102.7	87.8	95.1		80.1	87.7	97.9	88.7	98.8	100.8
┅┅ 食料品	101.2	103.9	103.2	104.3	85.2	98.9		75.0	91.2	95.5	96.2	105.0	99.6

3.食料品

アンケート調査分析①：自社の業況判断DI

- 今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「食料品」（n=16）は**▲56となり、前期（7－9月期、▲92）を底に大きく上昇したものの、水準はまだ低い。**
- 一方、中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「食料品」（n=940）は▲41.3となり、20年4－6月期 （▲75.9）を底にして回復傾向にある。なお、水準は県内企業のDIのほうが低い。
- 来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業はやや悪化（▲60）**、中小企業景況調査ではやや上昇するも、引き続き低水準（▲30.6）。

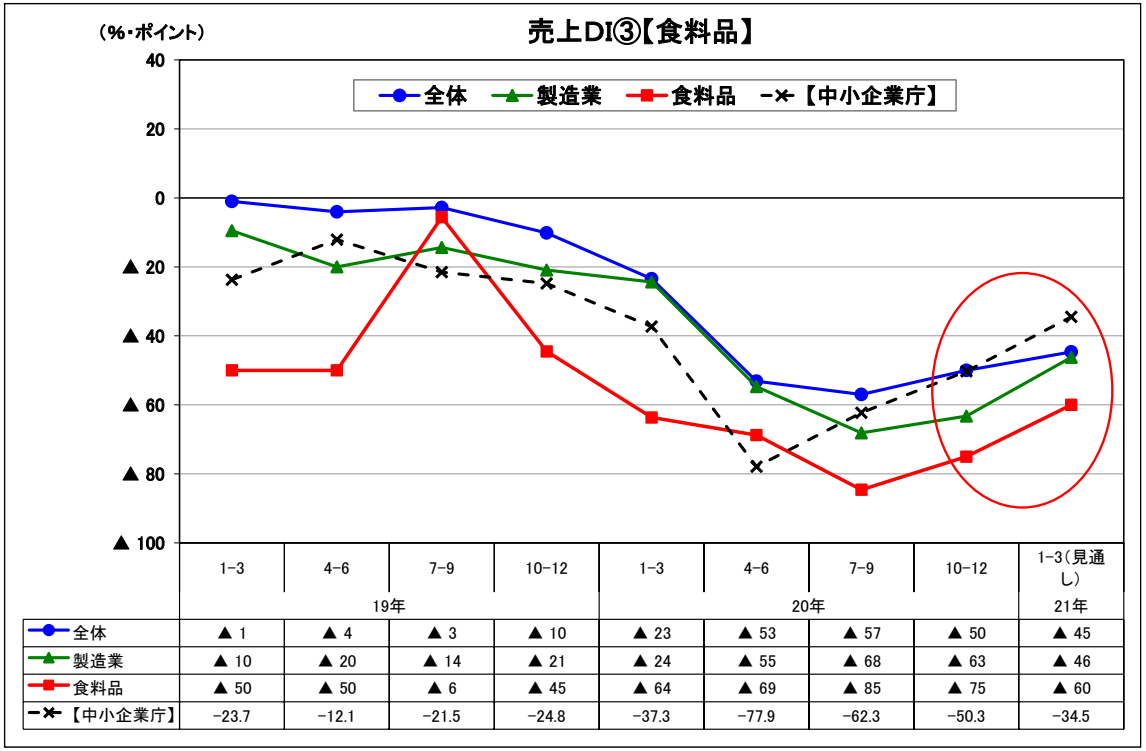


	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
全体	1	0	▲ 3	▲ 14	▲ 20	▲ 55	▲ 54	▲ 38	▲ 44
製造業	▲ 11	▲ 13	▲ 16	▲ 24	▲ 28	▲ 59	▲ 69	▲ 49	▲ 52
食料品	▲ 29	▲ 23	▲ 11	▲ 33	▲ 55	▲ 69	▲ 92	▲ 56	▲ 60
【中小企業庁】	-29.5	-16.6	-28.6	-26.2	-40.8	-75.9	-60.3	-41.3	-30.6

3.食料品

アンケート調査分析②：売上DI

- 今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲75となり、前期（7－9月期、▲85）を底に、やや上昇したが、厳しい状況が続いている。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲50.3となり、20年4－6月期（▲77.9）を底にして緩やかに上昇しているものの引き続き低水準。なお、水準は県内企業のDIのほうが低い。
- 来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業、中小企業景況調査ともに上昇するも（順に▲60、▲34.5）、引き続き低水準。**

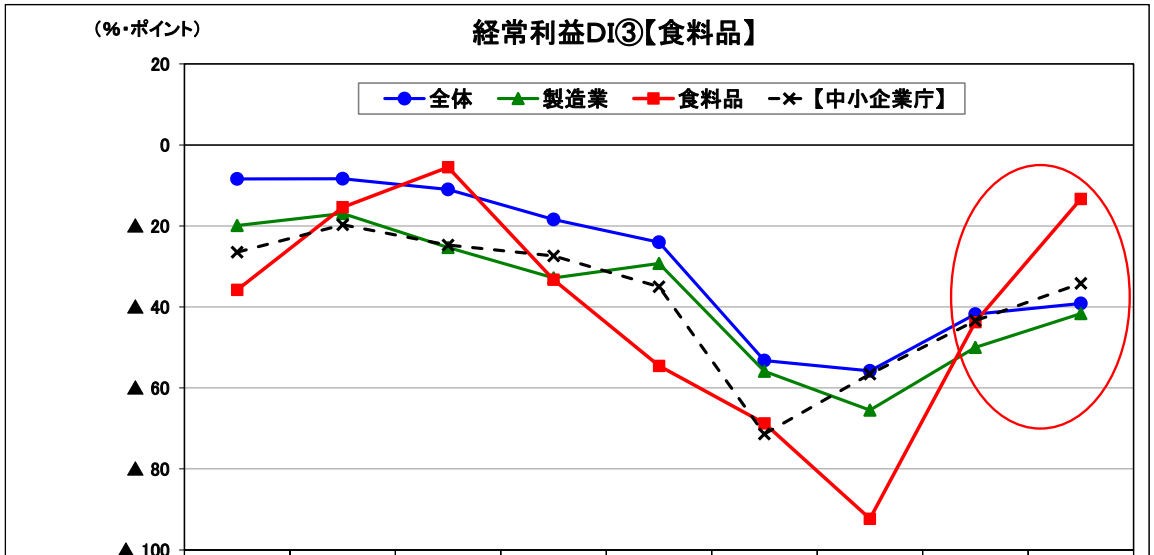


	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
全体	▲ 1	▲ 4	▲ 3	▲ 10	▲ 23	▲ 53	▲ 57	▲ 50	▲ 45
製造業	▲ 10	▲ 20	▲ 14	▲ 21	▲ 24	▲ 55	▲ 68	▲ 63	▲ 46
食料品	▲ 50	▲ 50	▲ 6	▲ 45	▲ 64	▲ 69	▲ 85	▲ 75	▲ 60
【中小企業庁】	-23.7	-12.1	-21.5	-24.8	-37.3	-77.9	-62.3	-50.3	-34.5

3.食料品

アンケート調査分析③:経常利益DI

- 今期(20年10－12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲44となり、前期(▲92)から大きく回復した。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲43.4となり、緩やかに上昇している。水準は県内企業のDIとほぼ同じ。
- 来期(21年1－3月期)の見通しをみると、**県内企業は大きく上昇し(▲13)**、中小企業景況調査では緩やかに上昇(▲34.2)。

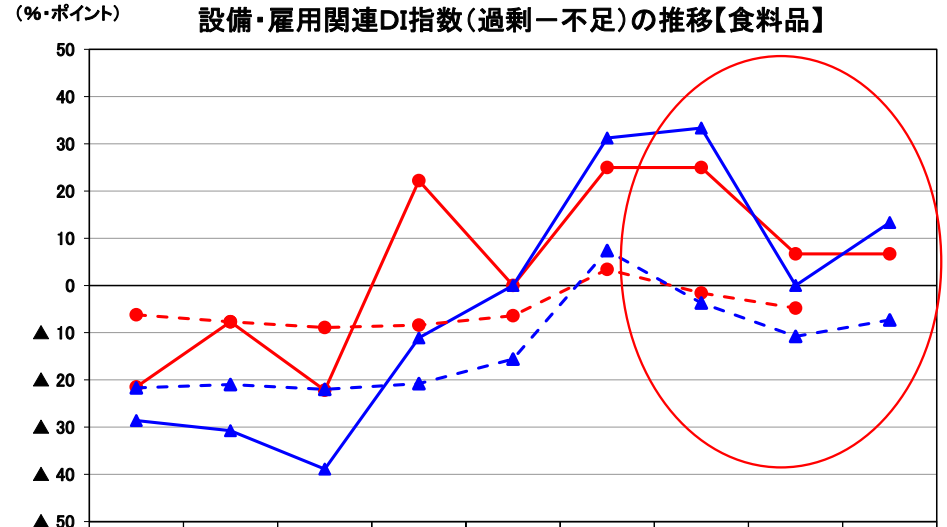


	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3(見通し)
全体	▲ 8	▲ 8	▲ 11	▲ 18	▲ 24	▲ 53	▲ 56	▲ 42	▲ 39
製造業	▲ 20	▲ 17	▲ 25	▲ 33	▲ 29	▲ 56	▲ 66	▲ 50	▲ 42
食料品	▲ 36	▲ 15	▲ 6	▲ 33	▲ 55	▲ 69	▲ 92	▲ 44	▲ 13
【中小企業庁】	-26.5	-19.7	-24.7	-27.4	-35	-71.4	-56.6	-43.4	-34.2

アンケート調査分析④：設備・雇用関連DI

・**「生産・営業用設備DI」**の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**7となり、過剰感は前期（25）に比べ弱まった。**中小企業庁の「中小企業景況調査」では4.8となり、不足感がやや強まった。来期（21年1－3月期）の見通しをみると、県内企業の過剰感は横ばい（7）。

・**「雇用人員DI」**の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**0（ゼロ）となり、前期（33）に比べると過剰感は弱まった。**中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲10.8となり、不足感はさらに強まった。来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業は再び過剰感がみられ（13）、**中小企業景況調査では不足感はやや弱まる（▲7.3）。



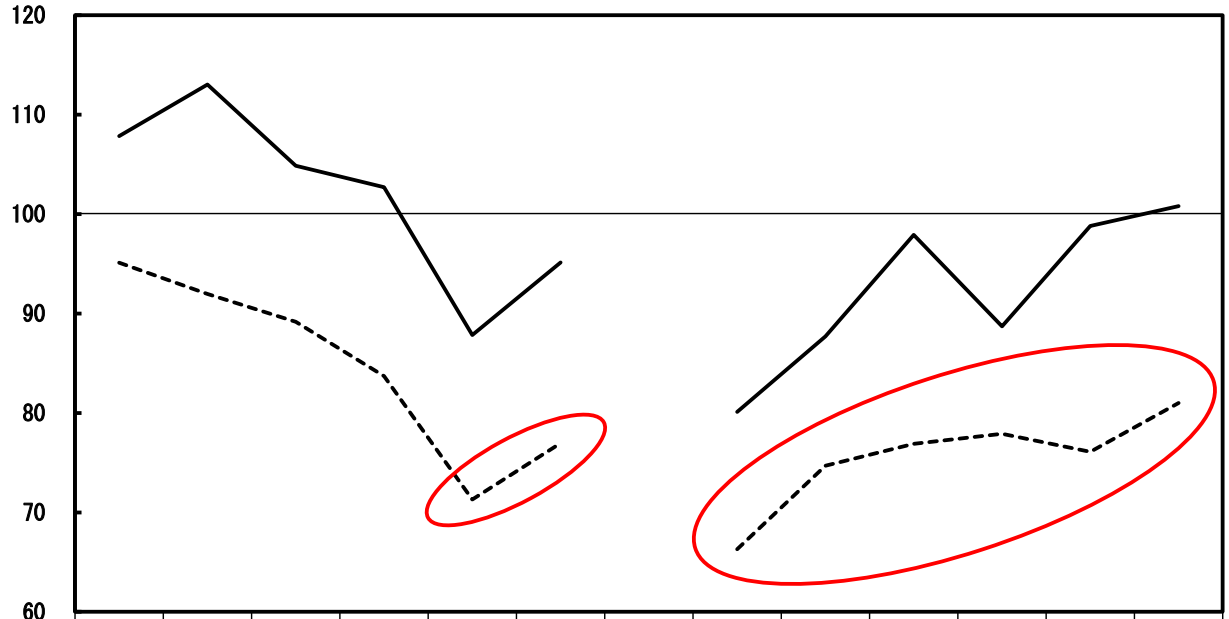
	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
生産・営業用設備DI	▲ 22	▲ 8	▲ 22	22	0	25	25	7	7
雇用人員DI	▲ 29	▲ 31	▲ 39	▲ 11	0	31	33	0	13
【中小企業庁】生産設備DI	−6.2	−7.7	−8.9	−8.4	−6.4	3.4	−1.6	−4.8	
【中小企業庁】従業員数DI	−21.7	−21	−22	−20.8	−15.6	7.4	−3.7	−10.8	−7.3

4.金属製品

現状分析：水準は緩やかに上昇するも、依然低水準

・滋賀県統計課が毎月集計、公表している「滋賀県鉱工業指数」（2020年10月速報）によると、「金属製品工業」の生産指数は7－9月期にはやや回復したものの（77.0、前期比＋8.0%）、依然、低水準が続いている。最近の動きをみると、**緩やかに上昇しているが、水準は引き続き低い。**

業種別の鉱工業生産指数の推移【金属製品】（季調済指数、2015年＝100）

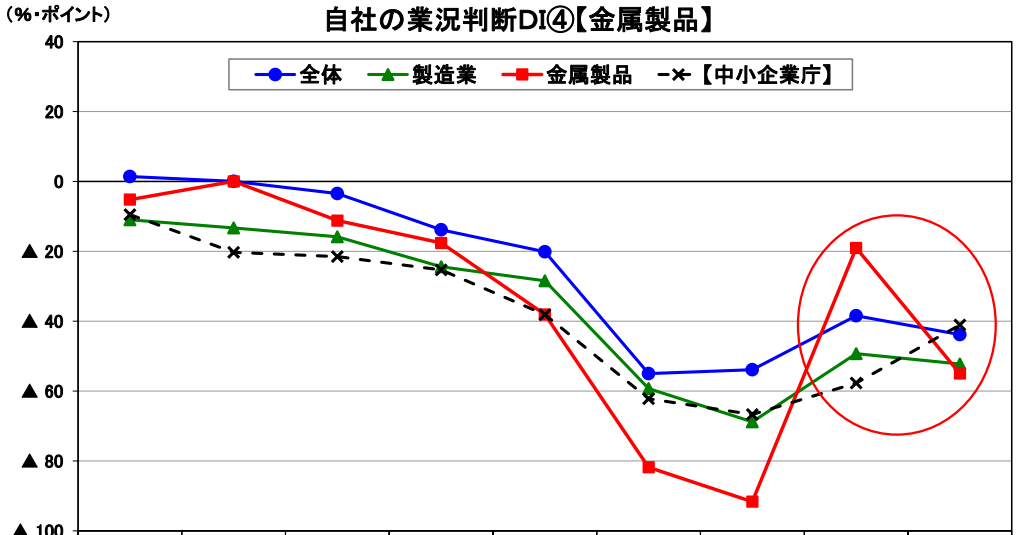


	2019年4-6月期	7-9月期	10-12月期	2020年1-3月期	4-6月期	7-9月期		2020年5月	6月	7月	8月	9月	10月
━━ 鉱工業総合	107.8	113.0	104.9	102.7	87.8	95.1		80.1	87.7	97.9	88.7	98.8	100.8
┅┅ 金属製品	95.1	92.0	89.2	83.7	71.3	77.0		66.3	74.7	76.9	77.9	76.1	81.0

4.金属製品

アンケート調査分析①：自社の業況判断DI

- 今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「金属製品」（n=21）は**▲19となり、前期（7－9月期、▲92）から大幅に上昇した。**
- 一方、中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「金属製品」（n=468）は▲57.7となり、前期（▲66.7）に比べやや上昇したものの、依然低水準。なお、水準は県内企業のDIのほうが高い。
- 来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業は大きく悪化（▲55）**、一方、中小企業景況調査では低水準ながらやや上昇（▲41.1）。

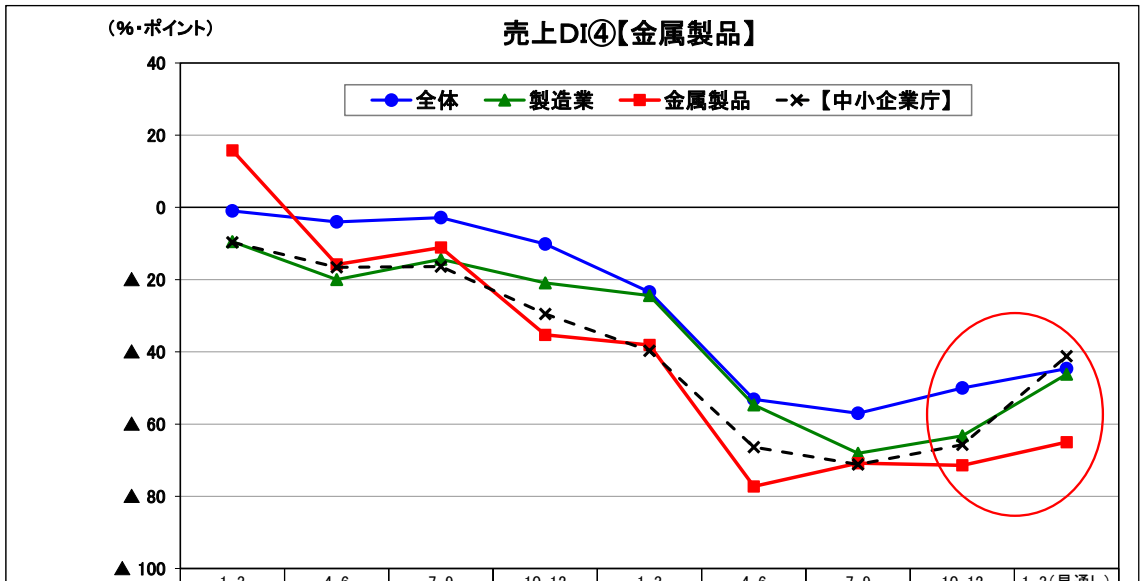


	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
全体	1	0	▲ 3	▲ 14	▲ 20	▲ 55	▲ 54	▲ 38	▲ 44
製造業	▲ 11	▲ 13	▲ 16	▲ 24	▲ 28	▲ 59	▲ 69	▲ 49	▲ 52
金属製品	▲ 5	0	▲ 11	▲ 18	▲ 38	▲ 82	▲ 92	▲ 19	▲ 55
【中小企業庁】	-9.5	-20.3	-21.5	-25.3	-38.1	-62.2	-66.7	-57.7	-41.1

4.金属製品

アンケート調査分析②：売上DI

- 今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲71となり、前期（7－9月期、▲71）横ばいで推移し、厳しい状況が続いている。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲65.7となり、引き続き低水準。なお、水準は県内企業のDIのほうが低い。
- 来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業はやや上昇（▲65）、**中小企業景況調査でも上昇するも、引き続き低水準（▲41.2）。

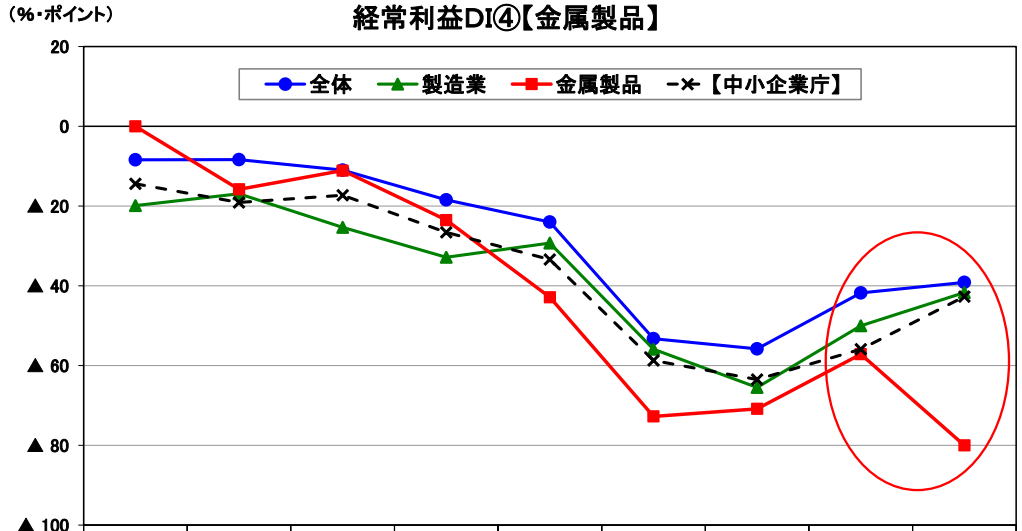


	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
全体	▲ 1	▲ 4	▲ 3	▲ 10	▲ 23	▲ 53	▲ 57	▲ 50	▲ 45
製造業	▲ 10	▲ 20	▲ 14	▲ 21	▲ 24	▲ 55	▲ 68	▲ 63	▲ 46
金属製品	16	▲ 16	▲ 11	▲ 35	▲ 38	▲ 77	▲ 71	▲ 71	▲ 65
【中小企業庁】	-9.7	-16.6	-16.4	-29.5	-39.7	-66.4	-71.2	-65.7	-41.2

4.金属製品

アンケート調査分析③：経常利益DI

- 今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲57となり、20年4－6月期（▲73）を底に、緩やかに回復。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲55.9となり、緩やかに上昇している。水準は県内企業のDIのほうがやや低い。
- 来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業は再び悪化（▲80）**するも、中小企業景況調査では2四半期連続で回復（▲42.7）。



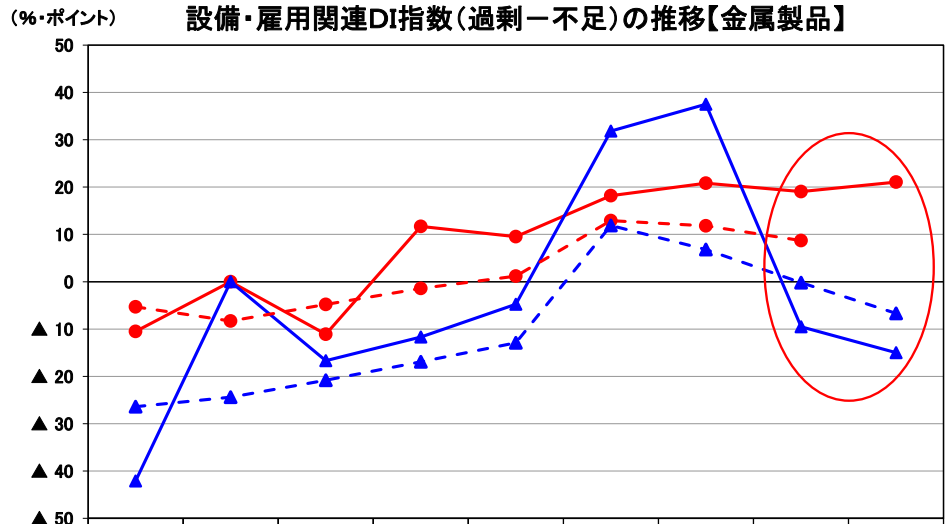
	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
全体	▲ 8	▲ 8	▲ 11	▲ 18	▲ 24	▲ 53	▲ 56	▲ 42	▲ 39
製造業	▲ 20	▲ 17	▲ 25	▲ 33	▲ 29	▲ 56	▲ 66	▲ 50	▲ 42
金属製品	0	▲ 16	▲ 11	▲ 24	▲ 43	▲ 73	▲ 71	▲ 57	▲ 80
【中小企業庁】	-14.4	-19.1	-17.3	-26.6	-33.4	-58.7	-63.5	-55.9	-42.7

4.金属製品

アンケート調査分析④：設備・雇用関連DI

・**「生産・営業用設備DI」**の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**19となり、過剰感は前期（21）に比べやや弱まった。**中小企業庁の「中小企業景況調査」では8.7となり、これも過剰感は弱まった。来期（21年1－3月期）の見通しをみると、県内企業の過剰感はやや強まる（21）。

・**「雇用人員DI」**の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲10となり、3四半期ぶりに不足感がみられる。**中小企業庁の「中小企業景況調査」でも▲0.2となり、やや不足となった。来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業の不足感はさらに強まり（▲15）、**中小企業景況調査でも不足感は強まる（▲6.7）。



	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
生産・営業用設備DI	▲ 11	0	▲ 11	12	10	18	21	19	21
雇用人員DI	▲ 42	0	▲ 17	▲ 12	▲ 5	32	38	▲ 10	▲ 15
【中小企業庁】生産設備DI	−5.3	−8.3	−4.8	−1.4	1.2	12.9	11.8	8.7	
【中小企業庁】従業員数DI	−26.4	−24.4	−20.8	−16.9	−12.9	11.9	6.8	−0.2	−6.7

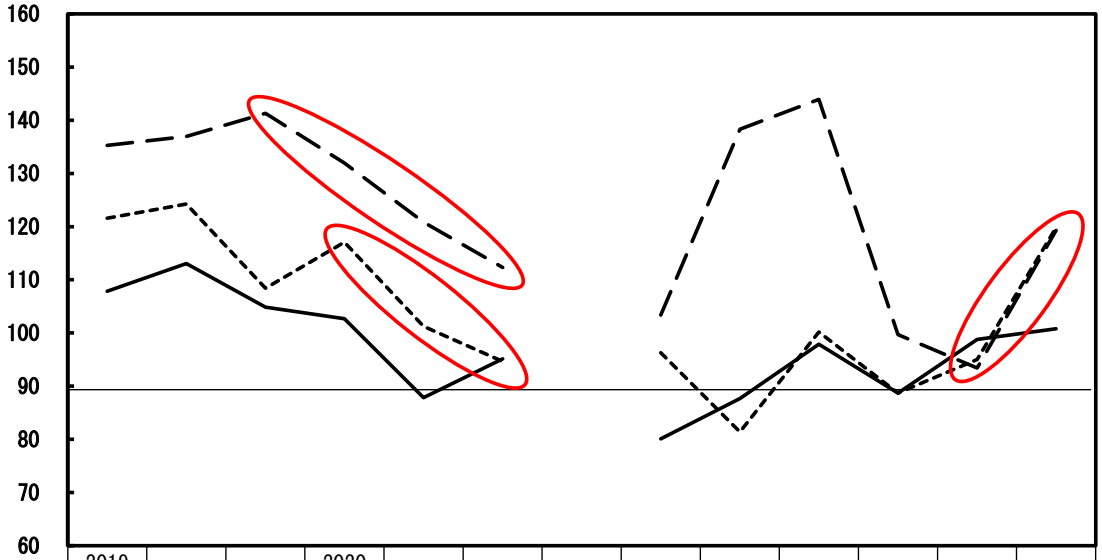
5.一般機械

現状分析：一進一退の中、徐々に回復

・滋賀県統計課が毎月集計、公表している「滋賀県鉱工業指数」（2020年10月速報）によると、一般機械関連の**「生産用機械工業」**の生産指数は2019年10－12月期をピークに（141.3）、低下傾向が続いている。最近の動きをみると、**一進一退で推移しているが、水準は徐々に回復。**

・**「汎用・業務用機械工業」**の生産指数も同様に低下傾向が続き、最近の動きは**一進一退の中、徐々に回復している。**

業種別の鉱工業生産指数の推移【一般機械】（季調済指数、2015年＝100）

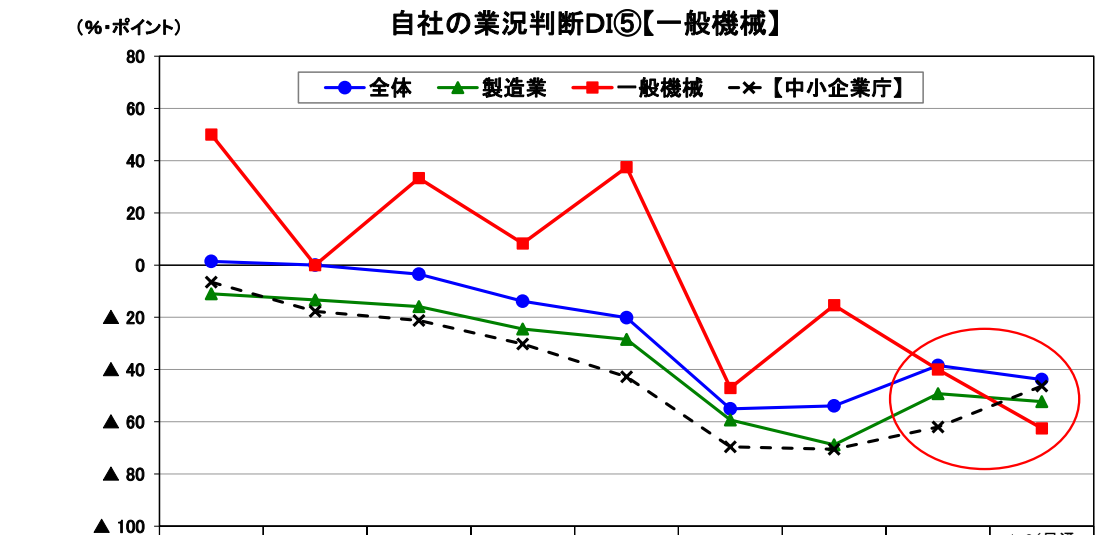


	2019年4-6月期	7-9月期	10-12月期	2020年1-3月期	4-6月期	7-9月期		2020年5月	6月	7月	8月	9月	10月
━━鉱工業総合	107.8	113.0	104.9	102.7	87.8	95.1		80.1	87.7	97.9	88.7	98.8	100.8
━ ━生産用機械	135.3	136.9	141.3	131.9	120.8	112.3		103.4	138.3	143.9	99.7	93.4	119.3
┅┅汎用・業務用機械	121.6	124.2	108.4	117.1	101.2	94.6		96.3	81.4	100.2	88.7	95.0	119.8

5.一般機械

アンケート調査分析①：自社の業況判断DI

- 今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「一般機械」（n=10）は**▲40となり、前期（7－9月期、▲15）に比べ大きく悪化した。**
- 一方、中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「機械器具」（n=569）は▲62.0となり、緩やかに上昇している。なお、水準は県内企業のDIのほうが高い。
- 来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業はさらに悪化（▲63）、**一方、中小企業景況調査では上昇（▲46.3）。

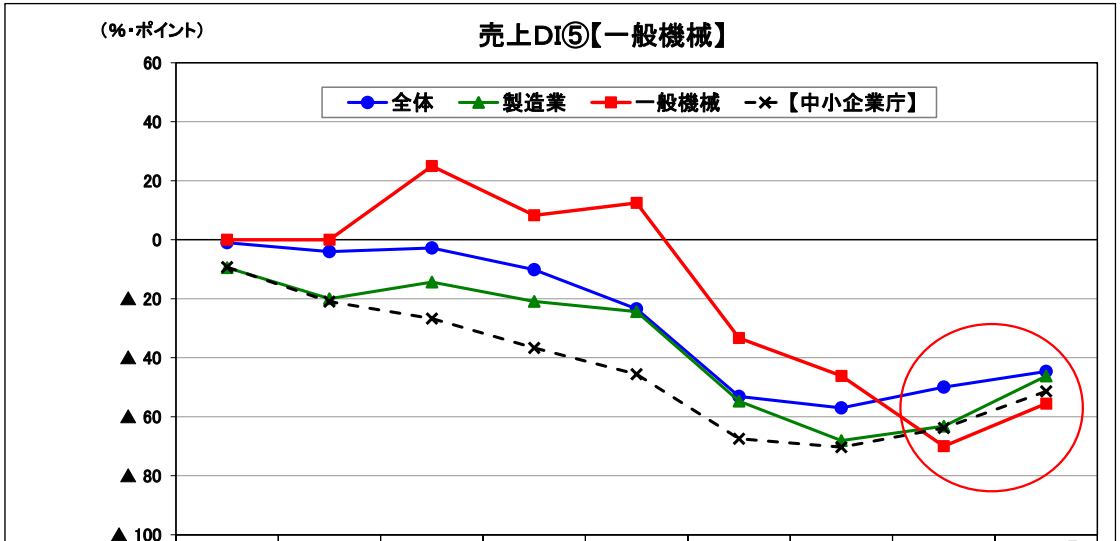


	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
全体	1	0	▲ 3	▲ 14	▲ 20	▲ 55	▲ 54	▲ 38	▲ 44
製造業	▲ 11	▲ 13	▲ 16	▲ 24	▲ 28	▲ 59	▲ 69	▲ 49	▲ 52
一般機械	50	0	33	8	38	▲ 47	▲ 15	▲ 40	▲ 63
【中小企業庁】	-6.5	-17.7	-21.2	-30.2	-42.8	-69.6	-70.5	-62	-46.3

5.一般機械

アンケート調査分析②：売上DI

- 今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲70となり、3四半期連続かつ大幅に悪化し、厳しい状況が続いている。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲63.8となり、前期に比べ上昇したものの、引き続き低水準。なお、水準は県内企業のDIのほうが低い。
- 来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業、中小企業景況調査ともにやや上昇するも引き続き低水準（順に▲56、▲51.4）。**

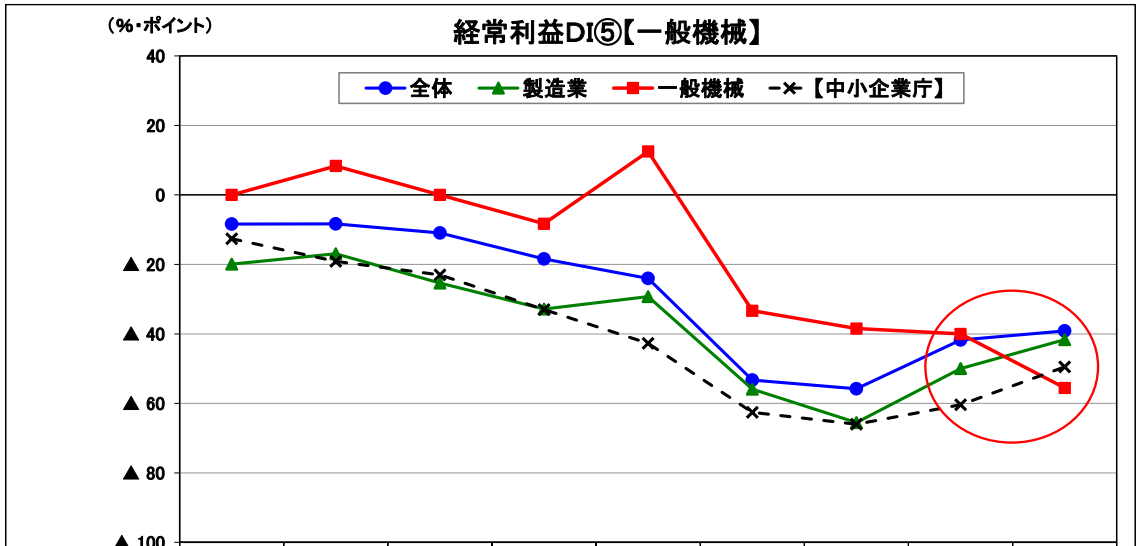


	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
全体	▲ 1	▲ 4	▲ 3	▲ 10	▲ 23	▲ 53	▲ 57	▲ 50	▲ 45
製造業	▲ 10	▲ 20	▲ 14	▲ 21	▲ 24	▲ 55	▲ 68	▲ 63	▲ 46
一般機械	0	0	25	8	13	▲ 33	▲ 46	▲ 70	▲ 56
【中小企業庁】	-9.3	-21	-26.7	-36.7	-45.6	-67.5	-70.3	-63.8	-51.4

5.一般機械

アンケート調査分析③:経常利益DI

- 今期(20年10－12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲40となり、前期(▲38)に比べ横ばいで推移。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲60.4となり、やや上昇したが引き続き低水準。水準は県内企業のDIのほうが高い。
- 来期(21年1－3月期)の見通しをみると、**県内企業は大きく悪化するも(▲56)**、中小企業景況調査では引き続き上昇(▲49.5)。

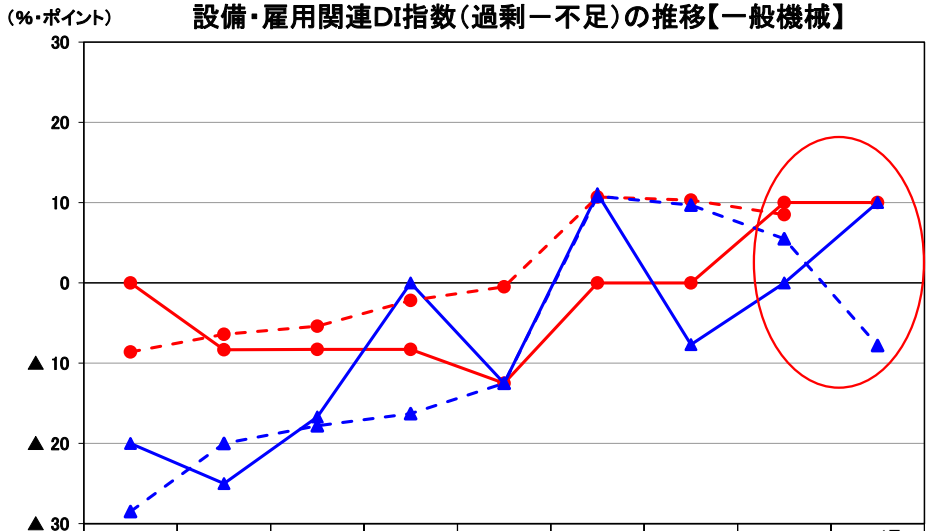


	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3(見通し)
全体	▲ 8	▲ 8	▲ 11	▲ 18	▲ 24	▲ 53	▲ 56	▲ 42	▲ 39
製造業	▲ 20	▲ 17	▲ 25	▲ 33	▲ 29	▲ 56	▲ 66	▲ 50	▲ 42
一般機械	0	8	0	▲ 8	13	▲ 33	▲ 38	▲ 40	▲ 56
【中小企業庁】	-12.6	-19.1	-23	-33	-42.7	-62.6	-66	-60.4	-49.5

5.一般機械

アンケート調査分析④：設備・雇用関連DI

- **「生産・営業用設備DI」**の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**10となり、やや過剰感が出てきた。**中小企業庁の「中小企業景況調査」では8.5となり、過剰感はやや弱まった。来期（21年1－3月期）の見通しをみると、県内企業の過剰感は横ばい（10）。
- 「雇用人員DI」の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**0（ゼロ）となり、中小企業庁の「中小企業景況調査」では5.5となり、過剰感はやや弱まった。**来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業の過剰感は横ばい（10）、**一方、中小企業景況調査では過剰感は一転、不足感がでる見込み（▲7.8）。



	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3（見通し）
	19年				20年				21年
生産・営業用設備DI	0	▲ 8	▲ 8	▲ 8	▲ 13	0	0	10	10
雇用人員DI	▲ 20	▲ 25	▲ 17	0	▲ 13	11	▲ 8	0	10
【中小企業庁】生産設備DI	-8.6	-6.4	-5.4	-2.2	-0.5	10.7	10.3	8.5	
【中小企業庁】従業員数DI	-28.5	-20	-17.8	-16.3	-12.5	10.8	9.7	5.5	-7.8

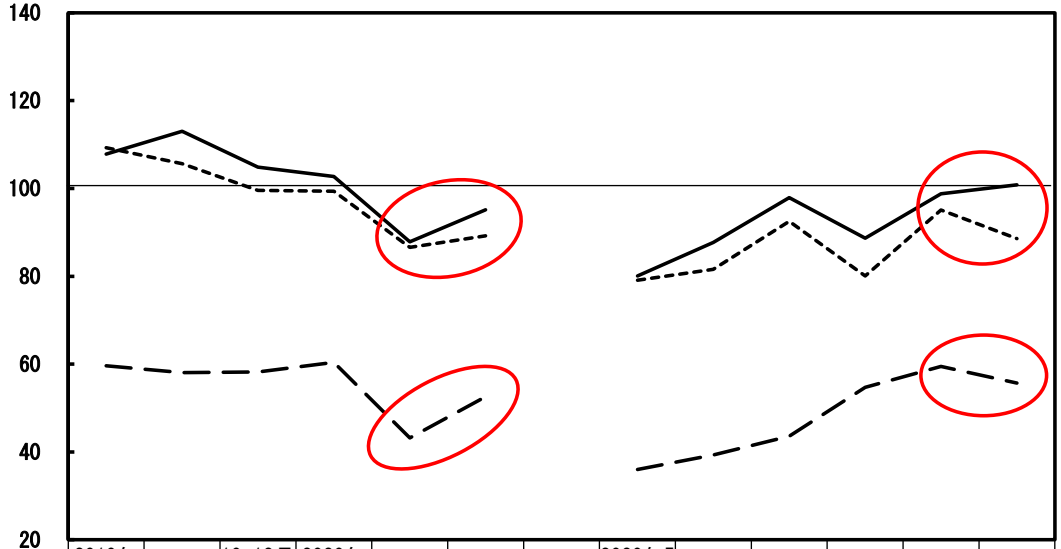
6.電気機械

現状分析：水準は再び低下

・滋賀県統計課が毎月集計、公表している「滋賀県鉱工業指数」（2020年10月速報）によると、電気機械関連の**「電子部品・デバイス工業」**の生産指数は新型コロナウイルスの感染拡大の影響から20年4－6月期は大きく低下し（43.2、前期比－28.5％）、7－9月期には上昇したものの、依然として極めて低い水準で推移している（52.6）。最近の動きをみると、**水準は再び低下している**（55.7、前月比－6.4％）。

・**「電気・情報通信機械工業」**の生産指数も7－9月期にはやや上昇したものの、依然として低い水準で推移している（89.2）。最近の動きをみると、**水準は再び低下している（88.6、前月比－6.8％）。**

業種別の鉱工業生産指数の推移【電気機械】（季調済指数、2015年＝100）

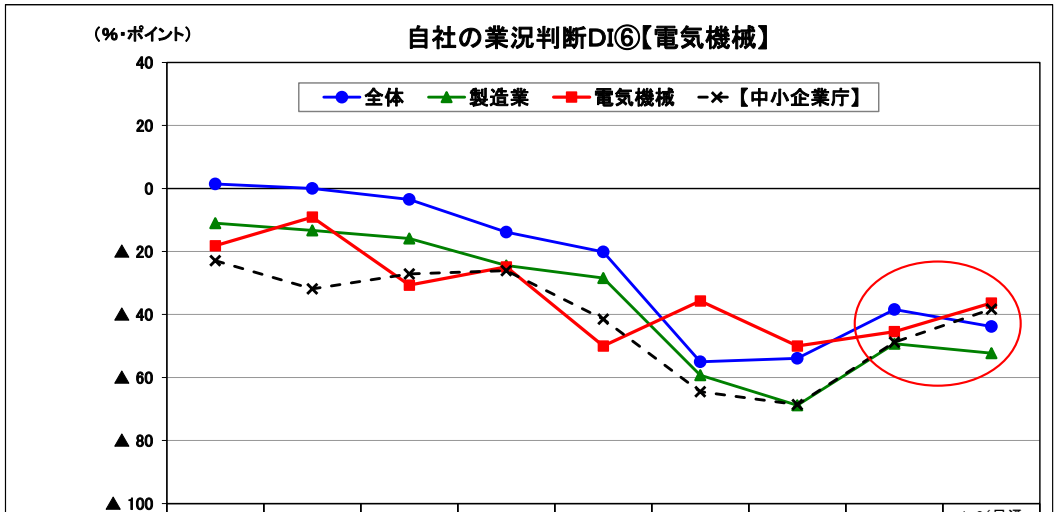


	2019年4-6月期	7-9月期	10-12月期	2020年1-3月期	4-6月期	7-9月期		2020年5月	6月	7月	8月	9月	10月
━━鉱工業総合	107.8	113.0	104.9	102.7	87.8	95.1		80.1	87.7	97.9	88.7	98.8	100.8
━ ━電子部品・デバイス	59.6	58.1	58.2	60.4	43.2	52.6		36.0	39.3	43.6	54.7	59.5	55.7
┅┅電気・情報通信機械	109.3	105.6	99.6	99.4	86.6	89.2		79.1	81.6	92.5	80.1	95.1	88.6

6.電気機械

アンケート調査分析①：自社の業況判断DI

- 今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「電気機械」（n=11）は**▲45となり、前期（7－9月期、▲50）を底にやや上昇したものの、水準は低い。**
- 一方、中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「電気・情報通信機械器具・電子部品」（n=189）は▲48.8となり、前期（▲68.6）に比べ大きく上昇している。なお、水準は県内企業のDIのほうが若干低い。
- 来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業は2四半期連続で上昇（▲36）**、中小企業景況調査ではこれも上昇の見通し（▲38.3）。

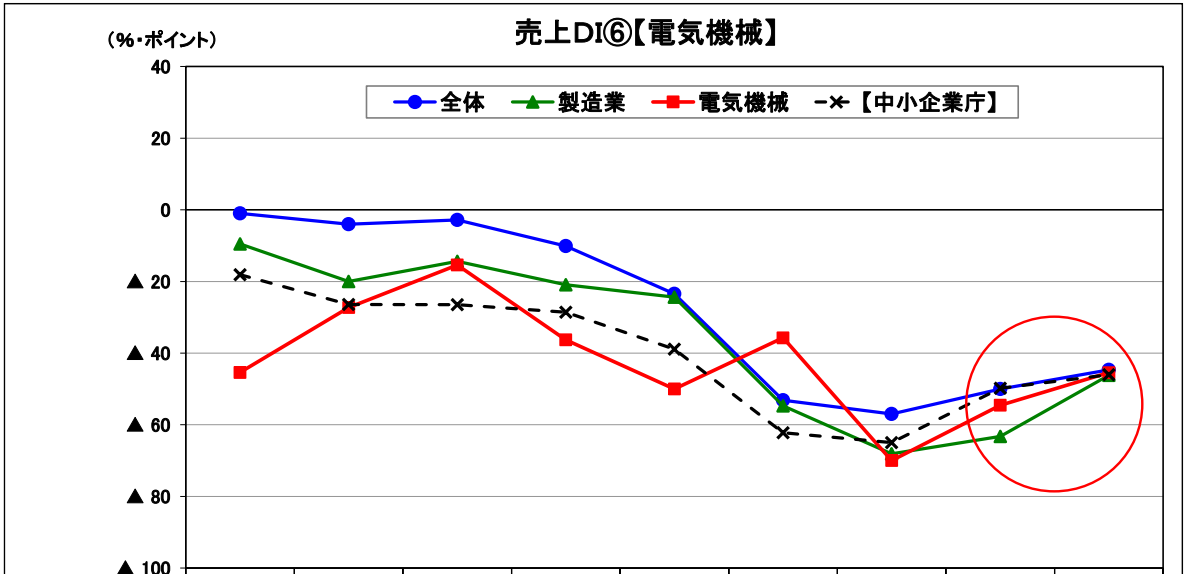


	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
全体	1	0	▲ 3	▲ 14	▲ 20	▲ 55	▲ 54	▲ 38	▲ 44
製造業	▲ 11	▲ 13	▲ 16	▲ 24	▲ 28	▲ 59	▲ 69	▲ 49	▲ 52
電気機械	▲ 18	▲ 9	▲ 31	▲ 25	▲ 50	▲ 36	▲ 50	▲ 45	▲ 36
【中小企業庁】	-22.9	-31.9	-27.1	-26.1	-41.5	-64.5	-68.6	-48.8	-38.3

6.電気機械

アンケート調査分析②:売上DI

- 今期(20年10－12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲55となり、前期(7－9月期、▲70)を底に、上昇したが、低水準で厳しい状況が続いている。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲49.8となり、7－9月期(▲65.0)を底にして上昇しているものの引き続き低水準。なお、水準は県内企業のDIのほうが低い。
- 来期(21年1－3月期)の見通しをみると、**県内企業、中小企業景況調査ともにやや上昇するも、引き続き低水準(順に▲45、▲46.0)。**

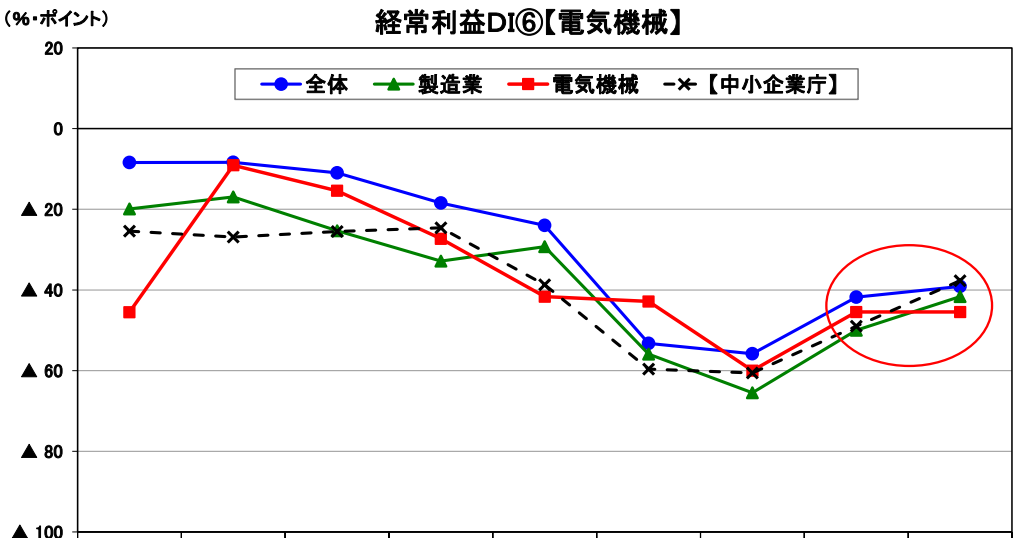


	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3(見通し)
	19年				20年				21年
全体	▲ 1	▲ 4	▲ 3	▲ 10	▲ 23	▲ 53	▲ 57	▲ 50	▲ 45
製造業	▲ 10	▲ 20	▲ 14	▲ 21	▲ 24	▲ 55	▲ 68	▲ 63	▲ 46
電気機械	▲ 45	▲ 27	▲ 15	▲ 36	▲ 50	▲ 36	▲ 70	▲ 55	▲ 45
【中小企業庁】	-18.1	-26.4	-26.5	-28.6	-38.9	-62.2	-65	-49.8	-46

6.電気機械

アンケート調査分析③:経常利益DI

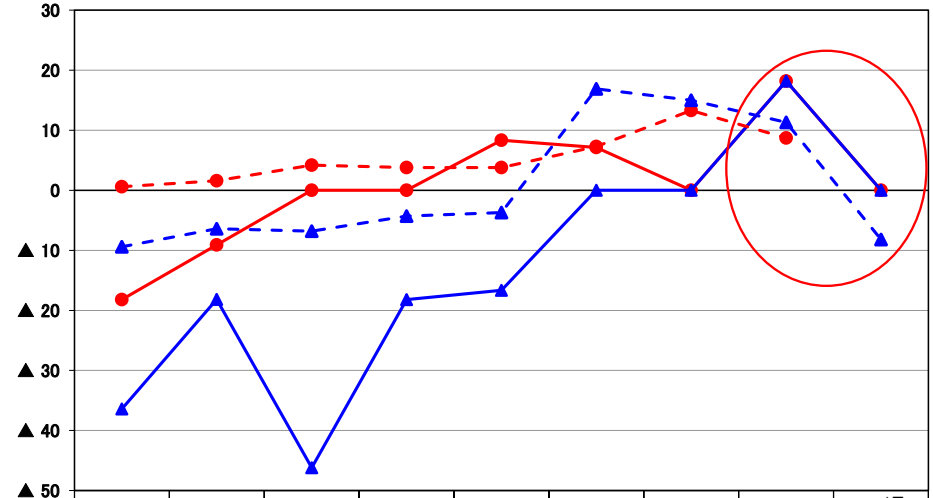
- 今期(20年10－12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲45となり、前期(▲60)から上昇した。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」でも▲49.0となり、上昇している。水準は県内企業のDIのほうがやや高い。
- 来期(21年1－3月期)の見通しをみると、**県内企業は横ばい(▲45)**で推移し、中小企業景況調査ではさらに上昇(▲37.7)。



	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3(見通し)
全体	▲ 8	▲ 8	▲ 11	▲ 18	▲ 24	▲ 53	▲ 56	▲ 42	▲ 39
製造業	▲ 20	▲ 17	▲ 25	▲ 33	▲ 29	▲ 56	▲ 66	▲ 50	▲ 42
電気機械	▲ 46	▲ 9	▲ 15	▲ 27	▲ 42	▲ 43	▲ 60	▲ 45	▲ 45
【中小企業庁】	-25.4	-26.9	-25.5	-24.6	-38.7	-59.6	-60.6	-49	-37.7

アンケート調査分析④：設備・雇用関連DI

- **「生産・営業用設備DI」**の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**18となり、過剰感がでてきた。**中小企業庁の「中小企業景況調査」では8.7となり、前期（13.3）に比べ過剰感は弱まった。来期（21年1－3月期）の見通しをみると、県内企業は再び0（ゼロ）となり、過剰感がなくなる。
- **「雇用人員DI」**の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**18となり、過剰感がでてきた。**中小企業庁の「中小企業景況調査」では11.3となり、過剰感はやや弱まった。来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業の過剰感はなくなり（0）、**中小企業景況調査では一転、不足感がでてくる（▲8.2）。

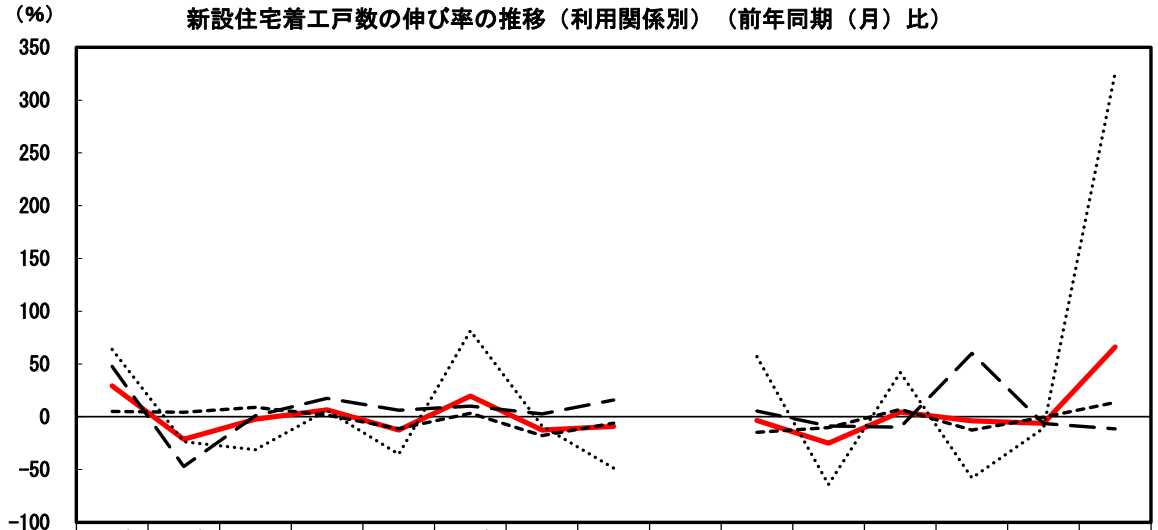


	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
生産・営業用設備DI	▲ 18	▲ 9	0	0	8	7	0	18	0
雇用人員DI	▲ 36	▲ 18	▲ 46	▲ 18	▲ 17	0	0	18	0
【中小企業庁】生産設備DI	0.6	1.6	4.2	3.8	3.8	7.3	13.3	8.7	
【中小企業庁】従業員数DI	-9.4	-6.4	-6.8	-4.3	-3.7	16.9	15	11.3	-8.2

現状分析①:「新設住宅着工戸数」は3か月ぶりに大幅増加

- 県内の**「新設住宅着工戸数」**(20年11月)は1,271戸、前年同月比＋66.1%となり、**3か月ぶりに大幅増加した。**
- 利用関係別では、「貸家」は265戸、同－11.4%で、2か月連続で減少したが、「持家」は427戸、同＋13.6%となり3か月ぶりに大幅増加した。「分譲住宅」は379戸、同＋325.8%で、3か月ぶりに大幅増加し、うち「一戸建て」は120戸で、4か月連続で増加し(前年差＋31戸)、「分譲マンション」は259戸で5か月ぶりに大幅増加(同＋259戸)。「給与住宅」は200戸。

新設住宅着工戸数の伸び率の推移（利用関係別）（前年同期（月）比）

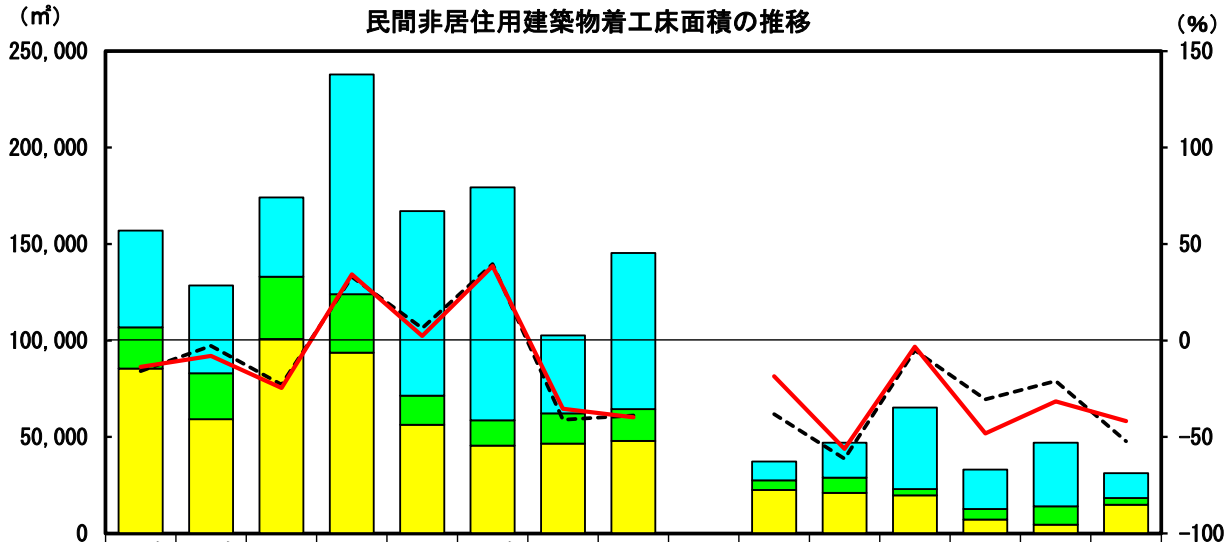


	2018年10-12月期	2019年1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	2020年1-3月期	4-6月期	7-9月期		2020年6月	7月	8月	9月	10月	11月
総戸数	29.3	-21.3	-2.4	6.5	-12.6	19.6	-12.7	-9.2		-3.6	-25.0	4.5	-3.8	-6.2	66.1
持家	5.0	4.2	8.9	1.5	-11.4	3.2	-17.9	-6.0		-14.7	-10.3	7.0	-12.7	-0.5	13.6
貸家	47.7	-47.2	1.0	17.5	6.2	10.0	2.7	16.0		5.4	-8.8	-10.0	60.1	-6.5	-11.4
分譲住宅	63.8	-23.6	-31.3	6.0	-35.6	81.3	-8.7	-48.6		57.0	-64.2	41.9	-58.0	-10.8	325.8

7.建設

現状分析②:「非居住用建築物着工床面積」は8か月連続かつ大幅に減少

- 県内の**「民間非居住用建築物着工床面積」**(20年11月)は43,912㎡、前年同月比－41.8%で、**8か月連続かつ大幅に減少している。**
- 用途別にみると、「商業用」は2か月連続で大幅増加したものの(3,558㎡、同＋56.5%)、「鉱工業用」と「サービス業用」が大幅減少したため(順に14,805㎡、同－53.7%、12,850㎡、同－58.6%)、この3業用計では8か月連続かつ大幅に減少している(31,213㎡、同－52.2%)。



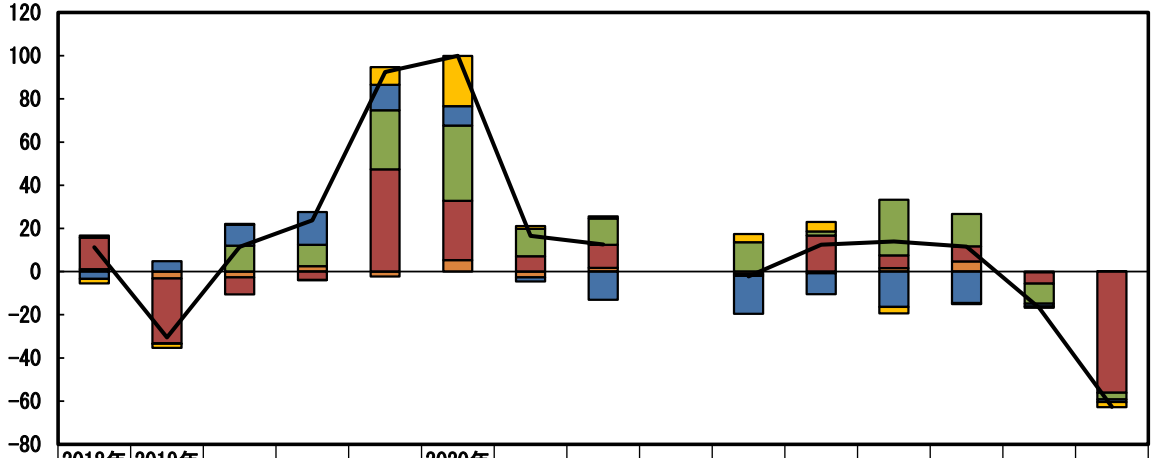
	2018年10-12月期	2019年1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	2020年1-3月期	4-6月期	7-9月期		2020年6月	7月	8月	9月	10月	11月
サービス業用	50,162	45,506	41,111	113,812	95,616	120,747	40,395	80,925		9,774	18,093	42,302	20,530	32,904	12,850
商業用	21,341	23,696	32,302	30,368	15,125	13,216	15,685	16,530		4,951	7,863	3,273	5,394	9,581	3,558
鉱工業用	85,491	59,267	100,753	93,664	56,323	45,457	46,505	47,957		22,525	21,035	19,706	7,216	4,522	14,805
３業用計	-15.9	-2.7	-22.9	33.0	6.4	39.7	-41.1	-38.9		-38.2	-61.3	-5.1	-30.5	-21.0	-52.2
非居住用	-13.7	-8.0	-24.6	34.3	2.3	38.5	-35.4	-39.8		-18.5	-56.2	-3.2	-48.1	-31.5	-41.8

7.建設

現状分析③:「請負金額」は2か月連続で大幅減少

・西日本建設業保証㈱の保証による県内の公共工事の保証件数(20年11月)は196件、前年同月比－14.0%で、2か月連続で大幅に減少している。**請負金額**は約62億円、同－62.7%で、これも**2か月連続で大幅減少。**

公共工事請負額の発注者別寄与度の推移（前年同期（月）比）

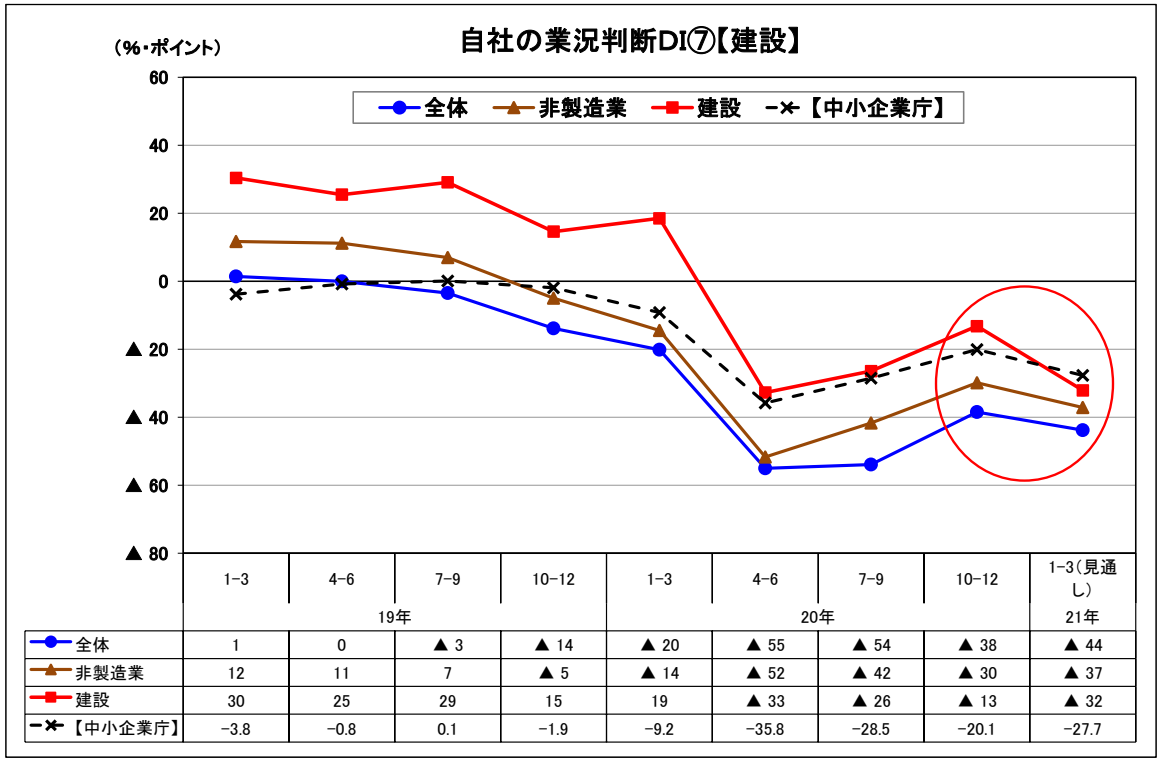


	2018年10-12月期	2019年1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	2020年1-3月期	4-6月期	7-9月期		2020年6月	7月	8月	9月	10月	11月
国	-2.1	-1.9	0.5	-0.0	8.2	23.3	1.3	0.9		3.8	4.4	-3.0	-0.4	-0.6	-2.4
独立行政法人	-3.4	4.8	9.6	15.2	11.8	8.9	-1.9	-13.0		-17.6	-9.7	-16.4	-14.6	-1.3	-1.2
県	1.0	-0.1	12.0	9.9	27.4	34.9	12.6	12.2		13.6	1.9	25.8	15.0	-9.3	-3.1
市町	14.6	-30.1	-8.0	-3.8	47.3	27.4	7.1	10.7		-0.8	16.7	5.9	7.0	-5.2	-56.1
その他	1.2	-3.2	-2.6	2.5	-2.3	5.3	-2.6	1.7		-1.1	-0.8	1.6	4.7	-0.3	0.1
合計	11.2	-30.5	11.5	23.8	92.4	99.9	16.5	12.5		-2.2	12.5	14.0	11.6	-16.8	-62.7

7.建設

アンケート調査分析①：自社の業況判断DI

- 今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「建設業」（n=53）は**▲13となり、3四半期連続で悪化しているものの、マイナス幅は緩やかに縮小している。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「建設業」（n=2,338）は▲20.1となり、20年4－6月期（▲35.8）を底に、緩やかに上昇している。なお、水準は県内企業のDIのほうが高い。
- 来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業は再び悪化（▲32）**、中小企業景況調査でも再び悪化（▲27.7）の見込み。

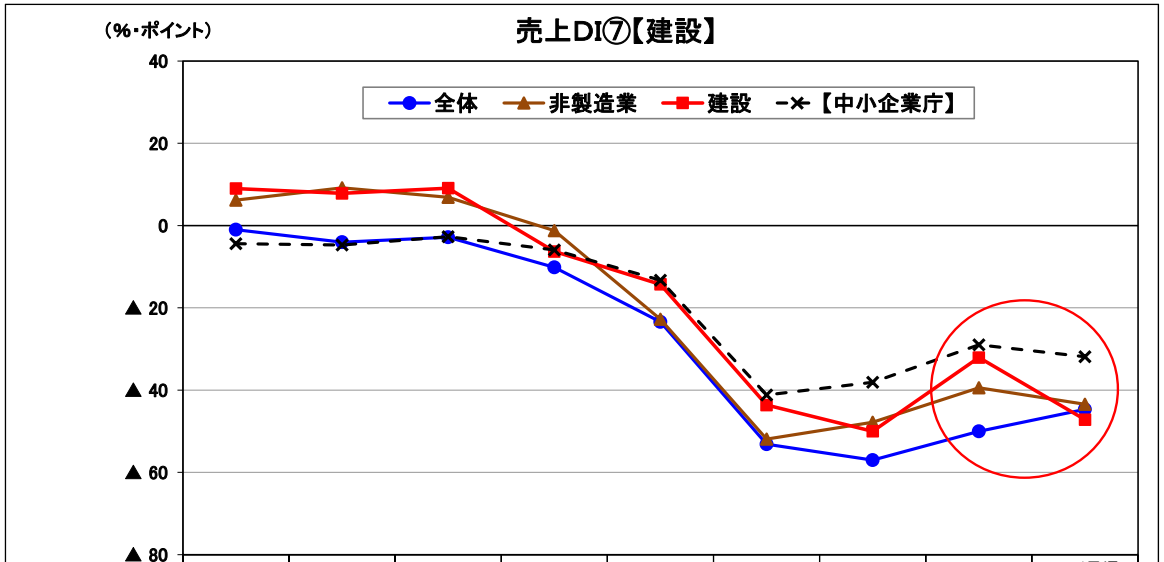


	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
全体	1	0	▲ 3	▲ 14	▲ 20	▲ 55	▲ 54	▲ 38	▲ 44
非製造業	12	11	7	▲ 5	▲ 14	▲ 52	▲ 42	▲ 30	▲ 37
建設	30	25	29	15	19	▲ 33	▲ 26	▲ 13	▲ 32
【中小企業庁】	-3.8	-0.8	0.1	-1.9	-9.2	-35.8	-28.5	-20.1	-27.7

7.建設

アンケート調査分析②:売上DI

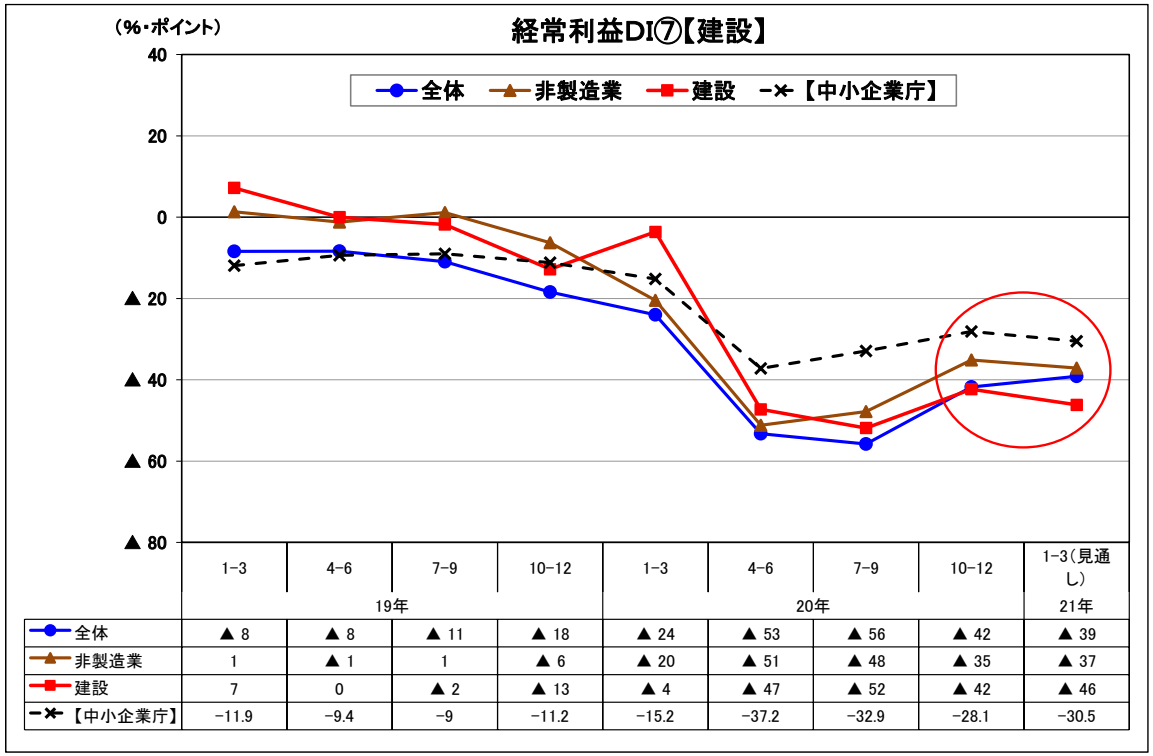
- 今期(20年10－12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲32となり、前期(7－9月期、▲50)を底に、やや上昇したが、厳しい状況が続いている。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲29.0となり、20年4－6月期(▲41.2)を底にして上昇しているものの引き続き低水準。なお、水準は県内企業のDIのほうが低い。
- 来期(21年1－3月期)の見通しをみると、**県内企業は再び大きく低下(▲47)**、中小企業景況調査でもやや低下(▲31.9)の見込み。



	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3(見通し)
全体	▲ 1	▲ 4	▲ 3	▲ 10	▲ 23	▲ 53	▲ 57	▲ 50	▲ 45
非製造業	6	9	7	▲ 1	▲ 23	▲ 52	▲ 48	▲ 39	▲ 43
建設	9	8	9	▲ 6	▲ 14	▲ 44	▲ 50	▲ 32	▲ 47
【中小企業庁】	-4.4	-4.7	-2.7	-5.9	-13.3	-41.2	-38.1	-29	-31.9

アンケート調査分析③：経常利益DI

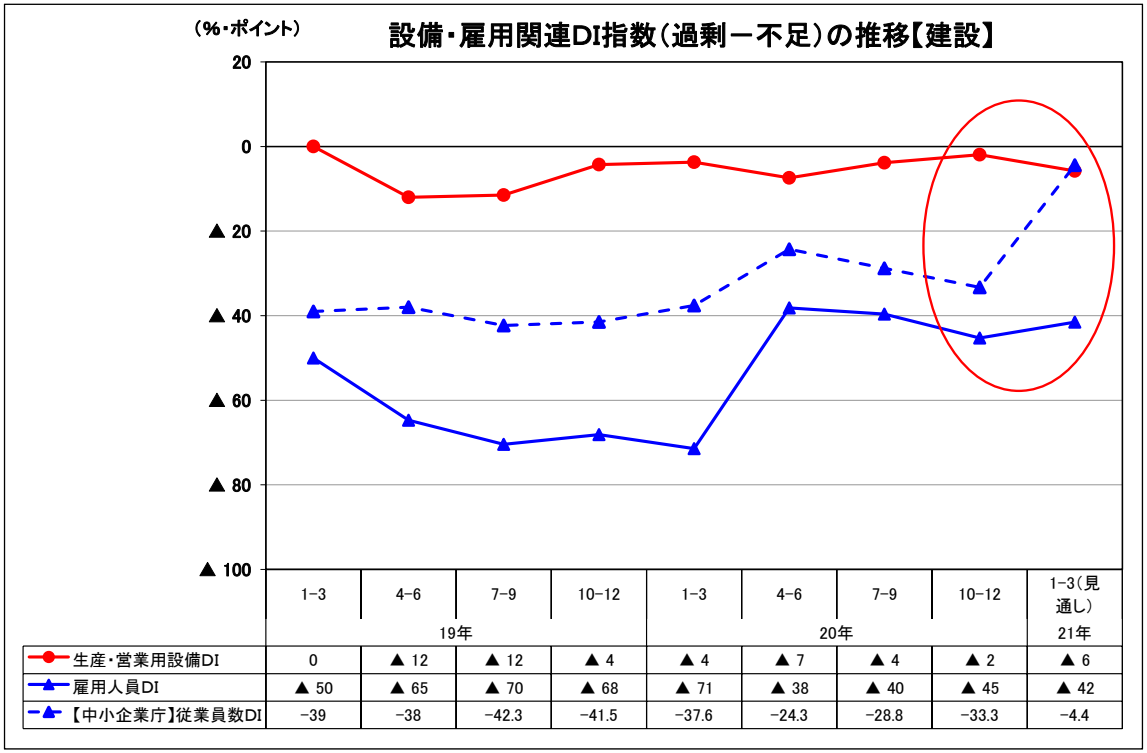
- 今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲42となり、前期（▲52）からやや上昇したものの、依然低水準。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲28.1となり、緩やかに上昇している。水準は県内企業のDIのほうが低い。
- 来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業は横ばい（▲39）**で推移し、中小企業景況調査でも横ばい（▲30.5）の見込み。



	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
全体	▲ 8	▲ 8	▲ 11	▲ 18	▲ 24	▲ 53	▲ 56	▲ 42	▲ 39
非製造業	1	▲ 1	1	▲ 6	▲ 20	▲ 51	▲ 48	▲ 35	▲ 37
建設	7	0	▲ 2	▲ 13	▲ 4	▲ 47	▲ 52	▲ 42	▲ 46
【中小企業庁】	-11.9	-9.4	-9	-11.2	-15.2	-37.2	-32.9	-28.1	-30.5

アンケート調査分析④：設備・雇用関連DI

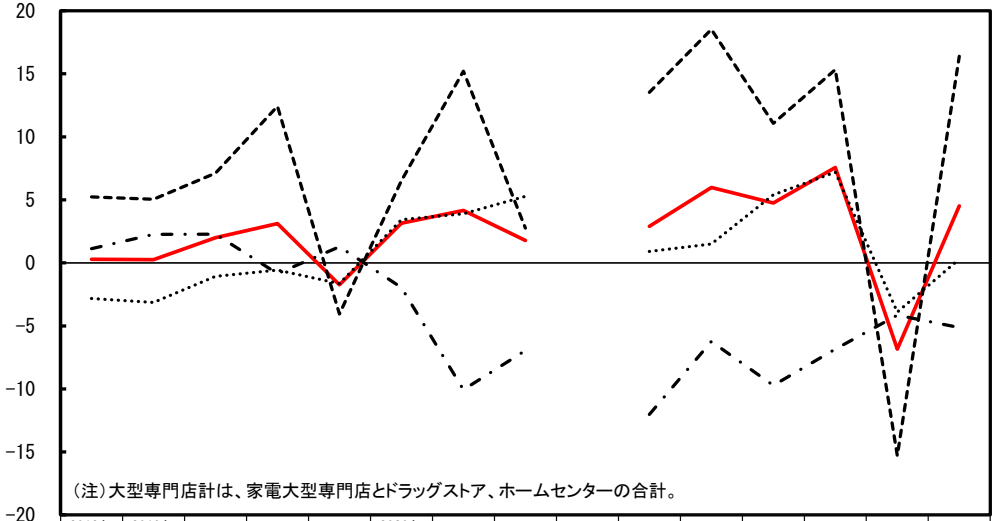
- **「生産・営業用設備DI」**の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲2となり、不足感はやや弱まった。**
- **「雇用人員DI」**の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲45となり、不足感はさらに強まっている。**中小企業庁の「中小企業景況調査」でも▲33.3となり、不足感は強まっている。来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業の不足感は横ばい（▲42）、**一方、中小企業景況調査では不足感は大きく弱まる見込み（▲4.4）。



現状分析①：消費税増税の影響を除くと、引き続き堅調に推移

- **「小売業6業態計売上高」**（20年10月）は43,272百万円、同＋4.5%となり2か月ぶりに増加した。なお、昨年の10月が消費増税前の駆け込み需要の反動減で販売額が少なかったため押し上げられたとみられるが、一昨年の同月と比べても増加しているため（＋1.3%）、上記の反動減による影響は小さいと考えられる。新型コロナ対策のための衛生用品をはじめ、「新しい生活様式」に関連した家電機器の販売などが**引き続き堅調に推移**しているためとみられる。
- 「百貨店・スーパー販売額（全店ベース＝店舗調整前、対象101店舗）」（10月）は、20,843百万円、前年同月比＋0.3%となり2か月ぶりの微増となった。上記の反動減の影響を除くと伸び悩んでいると考えられる。

百貨店・スーパー、大型専門店、コンビニエンスストアの小売業態別販売額（前年同期（月）比）

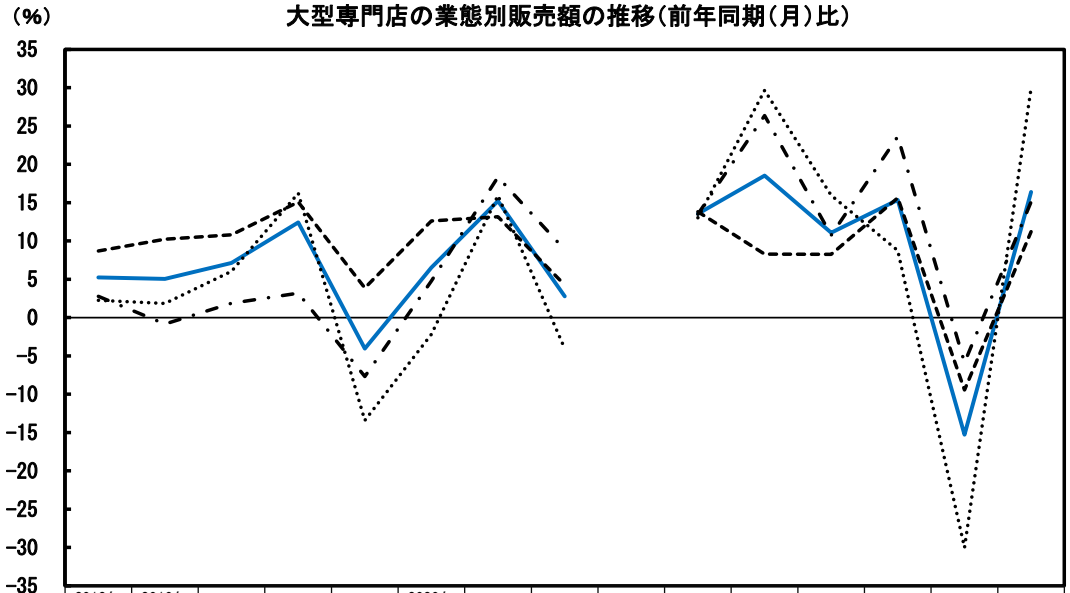


	2018年10-12月期	2019年1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	2020年1-3月期	4-6月期	7-9月期		2020年5月	6月	7月	8月	9月	10月
小売業６業態計	0.3	0.3	2.0	3.1	-1.7	3.2	4.2	1.8		2.9	6.0	4.8	7.6	-6.8	4.5
百貨店・スーパー（全店）	-2.8	-3.1	-1.1	-0.6	-1.7	3.4	3.9	5.3		0.9	1.5	5.4	7.2	-3.9	0.3
大型専門店計	5.2	5.0	7.1	12.4	-4.1	6.5	15.2	2.8		13.5	18.5	11.1	15.3	-15.3	16.4
コンビニエンスストア	1.1	2.3	2.3	-0.8	1.3	-2.0	-10.1	-6.9		-12.0	-6.2	-9.7	-6.8	-4.1	-5.1

現状分析②:「ドラッグストア」と「家電大型専門店」は引き続き堅調

・**大型専門店**では、ウエイトの高い「ドラッグストア」(全店ベース＝店舗調整前、20年10月、210店舗)は6,574百万円、同＋11.2%、「家電大型専門店」(同42店舗)は3,275百万円、同＋30.0%、「ホームセンター」(同63店舗)は3,254百万円、同＋15.1%で、すべて2か月ぶりに大幅増加した。一方、「コンビニエンスストア」(同560店舗)は9,326百万円、同－5.1%となり8か月連続で減少している。なお、「ドラッグストア」と「家電大型専門店」は、一昨年の同月と比べても増加しているため(順に＋11.9%、＋11.6%)、上記の反動減による影響は小さいと考えられ、**引き続き堅調に推移**していると考えられる。

大型専門店の業態別販売額の推移(前年同期(月)比)

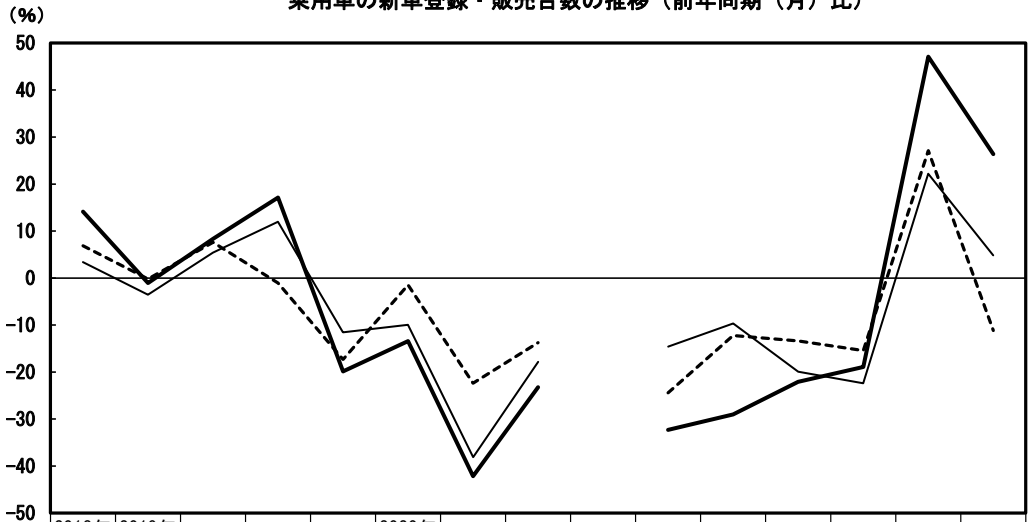


	2018年10-12月期	2019年1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	2020年1-3月期	4-6月期	7-9月期		2020年5月	6月	7月	8月	9月	10月
大型専門店計	5.2	5.0	7.1	12.4	-4.1	6.5	15.2	2.8		13.5	18.5	11.1	15.3	-15.3	16.4
家電大型専門店販売額	2.2	1.8	6.0	16.2	-13.4	-2.2	15.9	-4.0		13.0	29.6	15.9	8.7	-30.0	30.0
ドラッグストア販売額	8.7	10.2	10.8	15.1	3.9	12.6	13.1	4.3		13.8	8.3	8.2	15.6	-9.4	11.2
ホームセンター販売額	2.8	-0.8	1.9	3.2	-7.7	4.8	18.3	8.9		13.5	26.4	10.8	23.6	-5.9	15.1

現状分析③:「乗用車」と「軽乗用車」の登録・販売台数は引き続き伸び悩み

・**「乗用車新車登録台数(登録ナンバー別)」**(20年11月)は、「小型乗用車(5ナンバー)」が2か月ぶりに大幅減少したものの(1,009台、同－11.2%)、「普通乗用車(3ナンバー車)」が2か月連続で大幅増加したため(1,835台、同＋26.4%)、2車種合計では2か月連続で増加した(2,844台、同＋9.9%)。「軽乗用車」も2か月連続で増加した(1,886台、同＋4.8%)。しかし、一昨年の同月と比べると、**2車種計では－8.4%、軽乗用車は－0.2%となり、**昨年の同月は消費増税の駆け込み需要に伴う反動減が長引き、販売額が少なかったため伸び率が　押し上げられたとみられ、新型コロナ感染症拡大による外出自粛、家計収入の減少や将来不安などによる買い控えが続いていると考えられる。

乗用車の新車登録・販売台数の推移（前年同期（月）比）

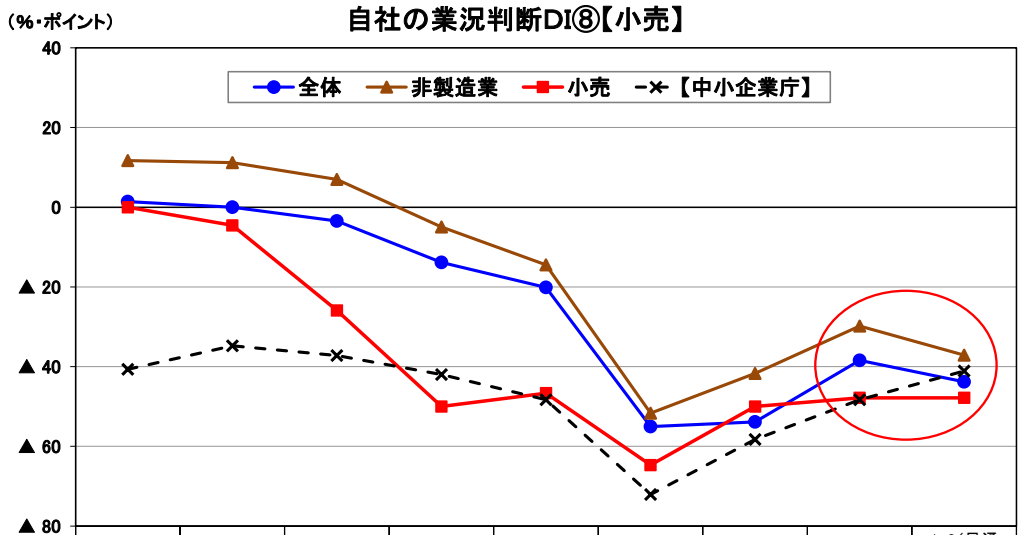


	2018年10-12月期	2019年1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	2020年1-3月期	4-6月期	7-9月期		2020年6月	7月	8月	9月	10月	11月
普通乗用車	14.1	-1.0	8.3	17.1	-19.8	-13.4	-42.2	-23.2		-32.3	-29.0	-22.1	-18.9	47.1	26.4
小型乗用車	6.9	-0.2	7.6	-1.1	-17.3	-1.5	-22.4	-13.7		-24.4	-12.2	-13.4	-15.4	27.1	-11.2
軽乗用車	3.4	-3.5	5.4	12.0	-11.6	-9.9	-38.1	-17.8		-14.6	-9.7	-19.9	-22.4	22.2	4.8

8.小売

アンケート調査分析①：自社の業況判断DI

- 今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「小売」（n=23）は**▲48となり、前期（7－9月期、▲50）に比べほぼ横ばいで、水準も低い。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「小売業」（n=4,448）は▲48.3となり、前々期（4－6月期、▲72.1）を底に上昇しているものの、水準は低い。水準は県内企業のDIとほぼ同じ。
- 来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業は横ばい（▲48）**、中小企業景況調査ではやや上昇の見通し（▲41.1）。

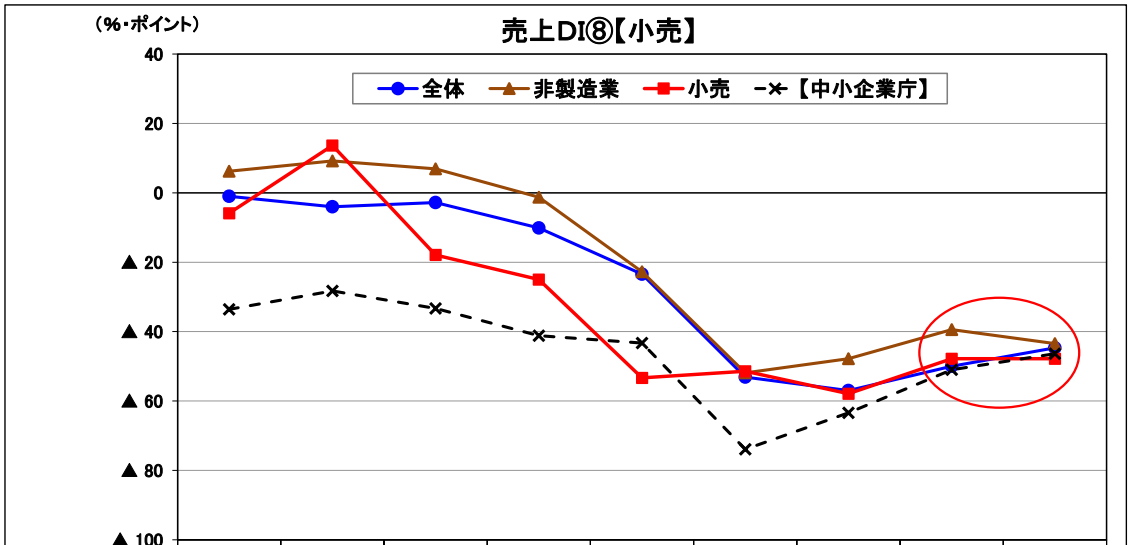


	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3（見通し）
	19年				20年				21年
全体	1	0	▲ 3	▲ 14	▲ 20	▲ 55	▲ 54	▲ 38	▲ 44
非製造業	12	11	7	▲ 5	▲ 14	▲ 52	▲ 42	▲ 30	▲ 37
小売	0	▲ 5	▲ 26	▲ 50	▲ 47	▲ 65	▲ 50	▲ 48	▲ 48
【中小企業庁】	-40.7	-34.8	-37.2	-42	-48.3	-72.1	-58.3	-48.3	-41.1

8.小売

アンケート調査分析②：売上DI

- 今期(20年10－12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲48となり、前期(7－9月期、▲58)を底にして上昇したが、低水準で厳しい状況が続いている。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲51.0となり、4－6月期(▲73.9)を底にして上昇しているものの引き続き低水準。なお、水準は県内企業のDIのほうがやや高い。
- 来期(21年1－3月期)の見通しをみると、**県内企業は横ばい(▲48)**、中小企業景況調査は上昇するも、引き続き低水準(▲46.4)。

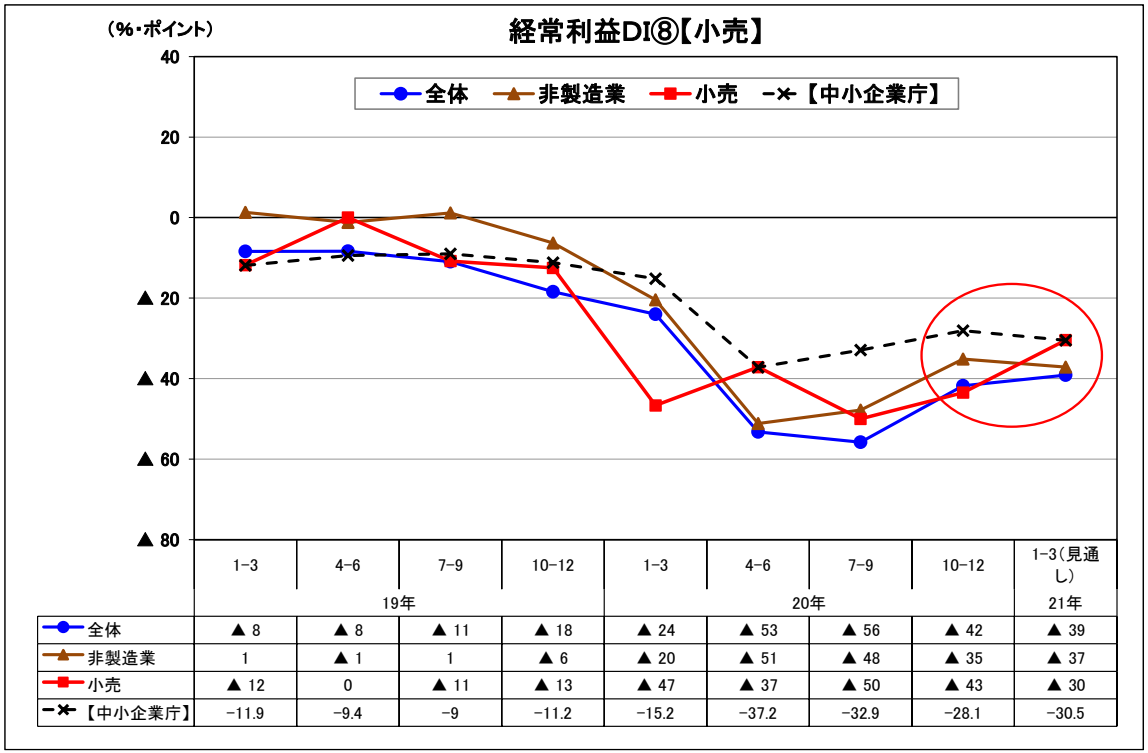


	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3(見通し)
	19年				20年				21年
全体	▲ 1	▲ 4	▲ 3	▲ 10	▲ 23	▲ 53	▲ 57	▲ 50	▲ 45
非製造業	6	9	7	▲ 1	▲ 23	▲ 52	▲ 48	▲ 39	▲ 43
小売	▲ 6	14	▲ 18	▲ 25	▲ 53	▲ 51	▲ 58	▲ 48	▲ 48
【中小企業庁】	-33.6	-28.3	-33.3	-41.2	-43.3	-73.9	-63.4	-51	-46.4

8.小売

アンケート調査分析③:経常利益DI

- 今期(20年10－12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲43となり、前期(▲50)からやや上昇した。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」でも▲28.1となり、上昇している。水準は県内企業のDIのほうが低い。
- 来期(21年1－3月期)の見通しをみると、**県内企業は上昇するも(▲30)**、中小企業景況調査ではやや低下(▲30.5)。

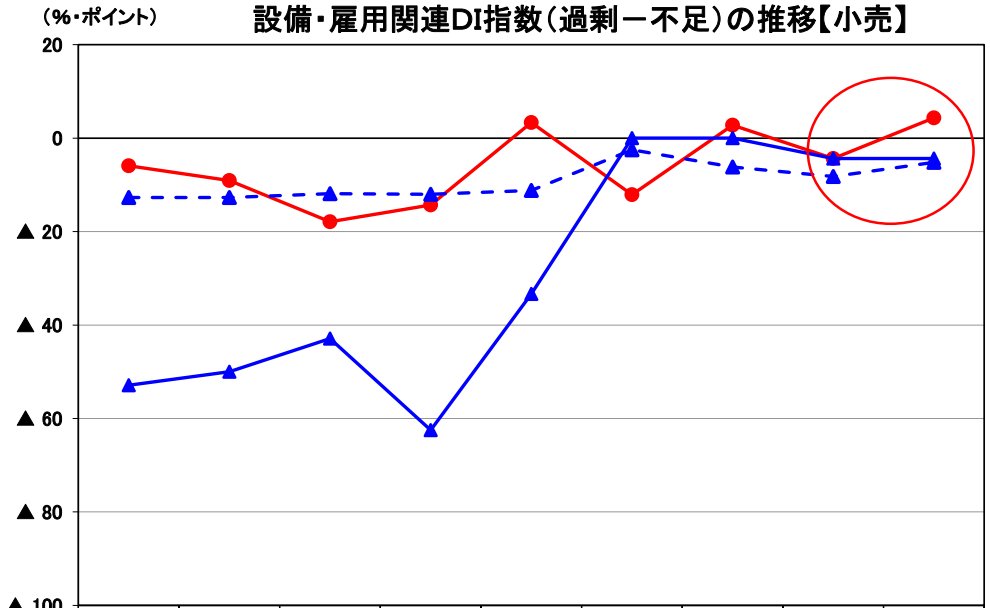


	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3(見通し)
全体	▲ 8	▲ 8	▲ 11	▲ 18	▲ 24	▲ 53	▲ 56	▲ 42	▲ 39
非製造業	1	▲ 1	1	▲ 6	▲ 20	▲ 51	▲ 48	▲ 35	▲ 37
小売	▲ 12	0	▲ 11	▲ 13	▲ 47	▲ 37	▲ 50	▲ 43	▲ 30
【中小企業庁】	-11.9	-9.4	-9	-11.2	-15.2	-37.2	-32.9	-28.1	-30.5

アンケート調査分析④：設備・雇用関連DI

- **「生産・営業用設備DI」**の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲4となり、やや不足となっている。**来期（21年1－3月期）の見通しをみると、県内企業は4となり、再び過剰感がみられる。
- **「雇用人員DI」**の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲4となり、やや不足感がみられる。**中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲8.2、これも不足感がみられる。来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業の不足感は横ばい（▲4）、**中小企業景況調査では不足感がやや弱まる（▲5.2）。

設備・雇用関連DI指数（過剰－不足）の推移【小売】



	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
生産・営業用設備DI	▲ 6	▲ 9	▲ 18	▲ 14	3	▲ 12	3	▲ 4	4
雇用人員DI	▲ 53	▲ 50	▲ 43	▲ 63	▲ 33	0	0	▲ 4	▲ 4
【中小企業庁】従業員数DI	−12.7	−12.7	−11.9	−12	−11.2	−2.5	−6.2	−8.2	−5.2

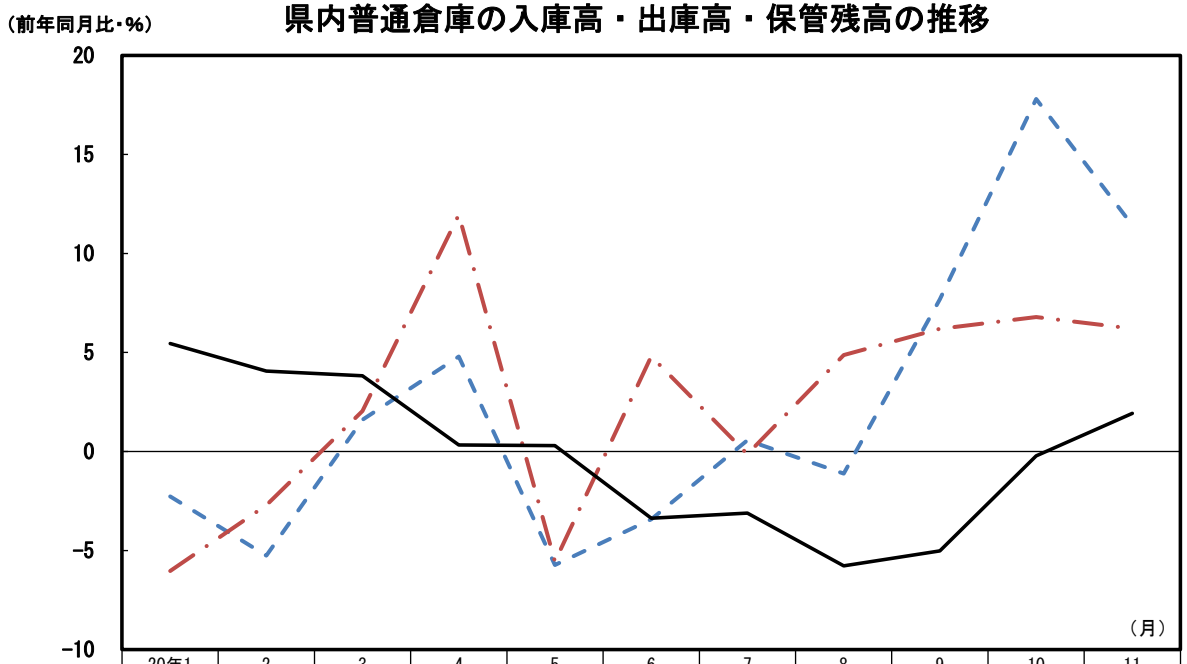
9.運輸・通信

現状分析①：普通倉庫の「保管残高」は6か月ぶりの前年比プラス

・滋賀県倉庫協会に加入の会員企業における普通倉庫の営業データによると、「入庫高」は20年5月（前年同月比－5.7%）を底にして回復傾向にあり、直近の2か月は二ケタの大幅増加（同＋17.8%、同＋11.4%）となっている。「出庫高」も同様に5月（同－5.6%）を底に増加している。

・この結果、**「保管残高」**は8月（同－5.8%）を底にして回復傾向がみられ、直近の11月は**6か月ぶりの前年比プラスとなった（同＋1.9%）。**

県内普通倉庫の入庫高・出庫高・保管残高の推移

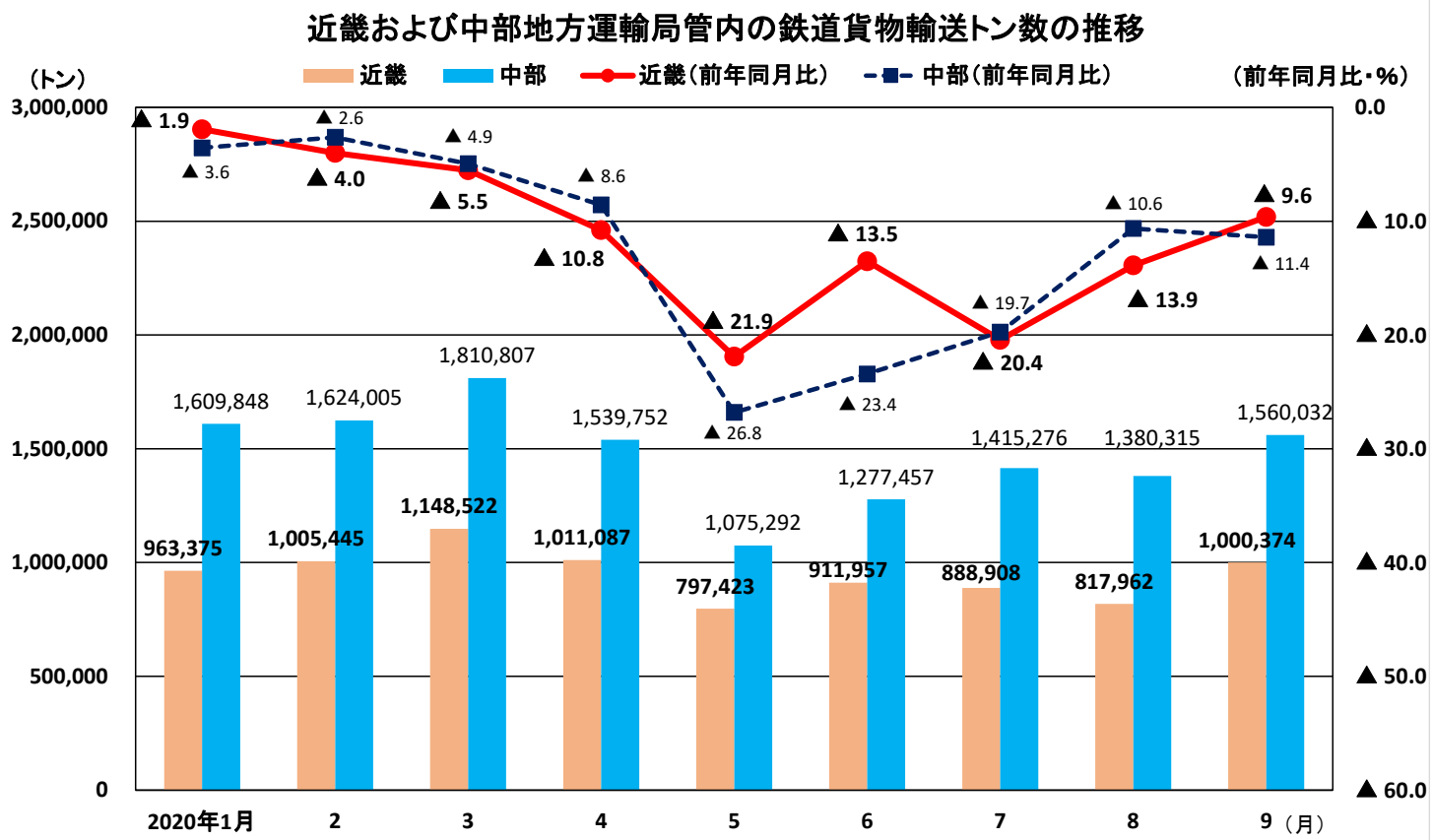


	20年1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
入庫高・トン	-2.3	-5.3	1.6	4.8	-5.7	-3.4	0.6	-1.1	7.7	17.8	11.4
出庫高・トン	-6.0	-2.7	2.0	12.0	-5.6	4.8	-0.1	4.9	6.2	6.8	6.2
保管残高・トン	5.5	4.1	3.8	0.3	0.3	-3.4	-3.1	-5.8	-5.0	-0.2	1.9

（資料）滋賀県倉庫協会

現状分析②:「鉄道貨物」は20年5月を底に回復傾向

・近畿地方および中部地域のコンテナ貨物と車扱貨物の合計である「鉄道貨物」は、依然、前年比マイナスが続いているものの、20年5月を底にして回復傾向がみられる。



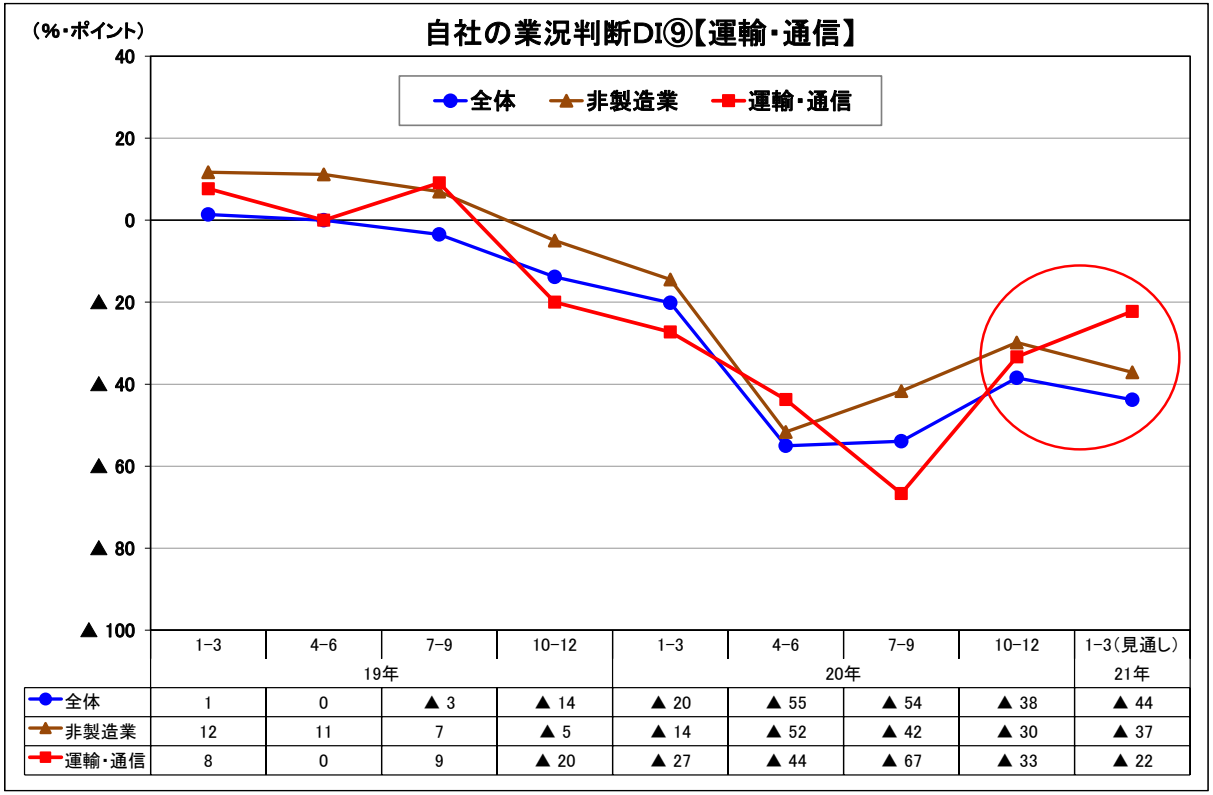
(資料)鉄道貨物はコンテナ貨物と車扱貨物の合計
(資料)国土交通省「鉄道輸送統計調査」

9.運輸・通信

アンケート調査分析①：自社の業況判断DI

・今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「運輸・通信」（n=9）は**▲33となり、前期（7－9月期、▲67）に比べ大幅に上昇したものの、水準は依然低い。**

・来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業はマイナス水準ながら、さらに上昇し（▲22）、非製造業（▲37）、全体（▲44）の水準を上回る見通し。**



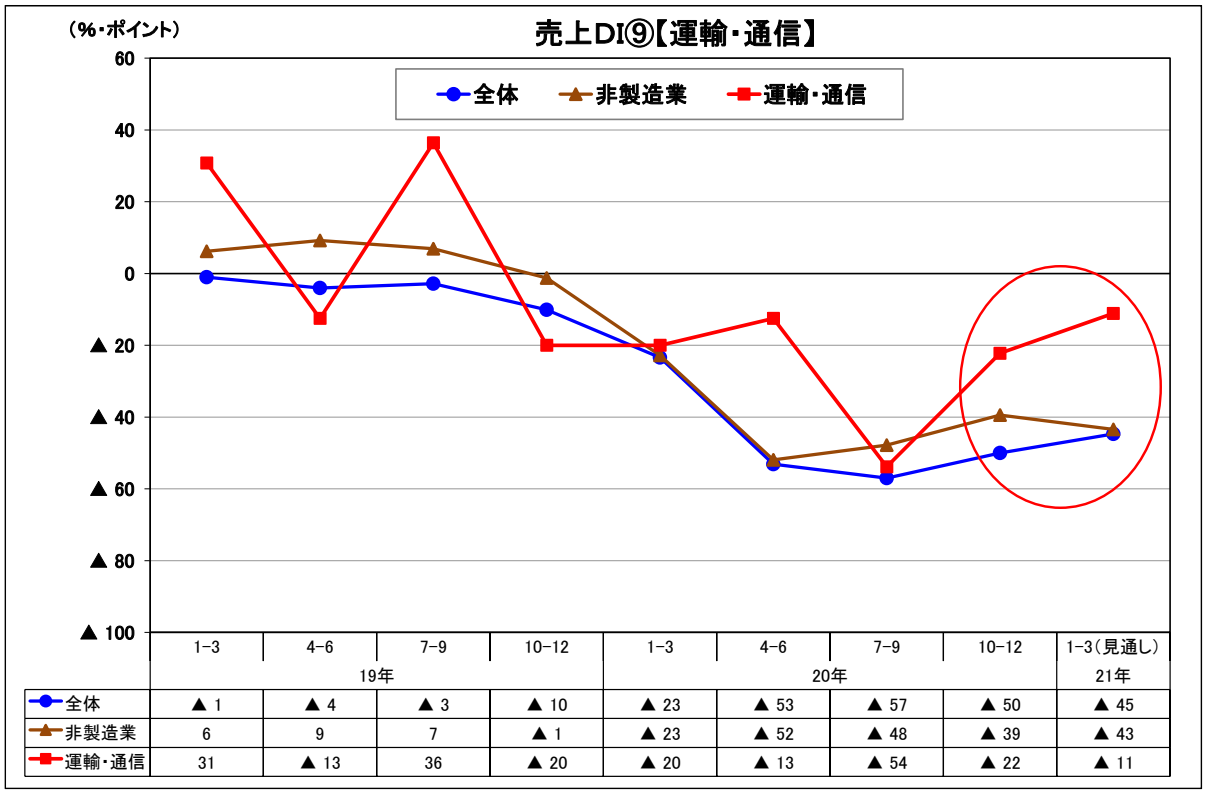
	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
全体	1	0	▲ 3	▲ 14	▲ 20	▲ 55	▲ 54	▲ 38	▲ 44
非製造業	12	11	7	▲ 5	▲ 14	▲ 52	▲ 42	▲ 30	▲ 37
運輸・通信	8	0	9	▲ 20	▲ 27	▲ 44	▲ 67	▲ 33	▲ 22

9.運輸・通信

アンケート調査分析②：売上DI

・今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲22となり、前期（7－9月期、▲54）に比べ大幅に上昇したものの、水準は依然低い。

・来期（21年1－3月期）の見通しをみると、県内企業はマイナス水準ながら、さらに上昇し（▲11）、非製造業（▲43）、全体（▲45）の水準を大きく上回る見通し。



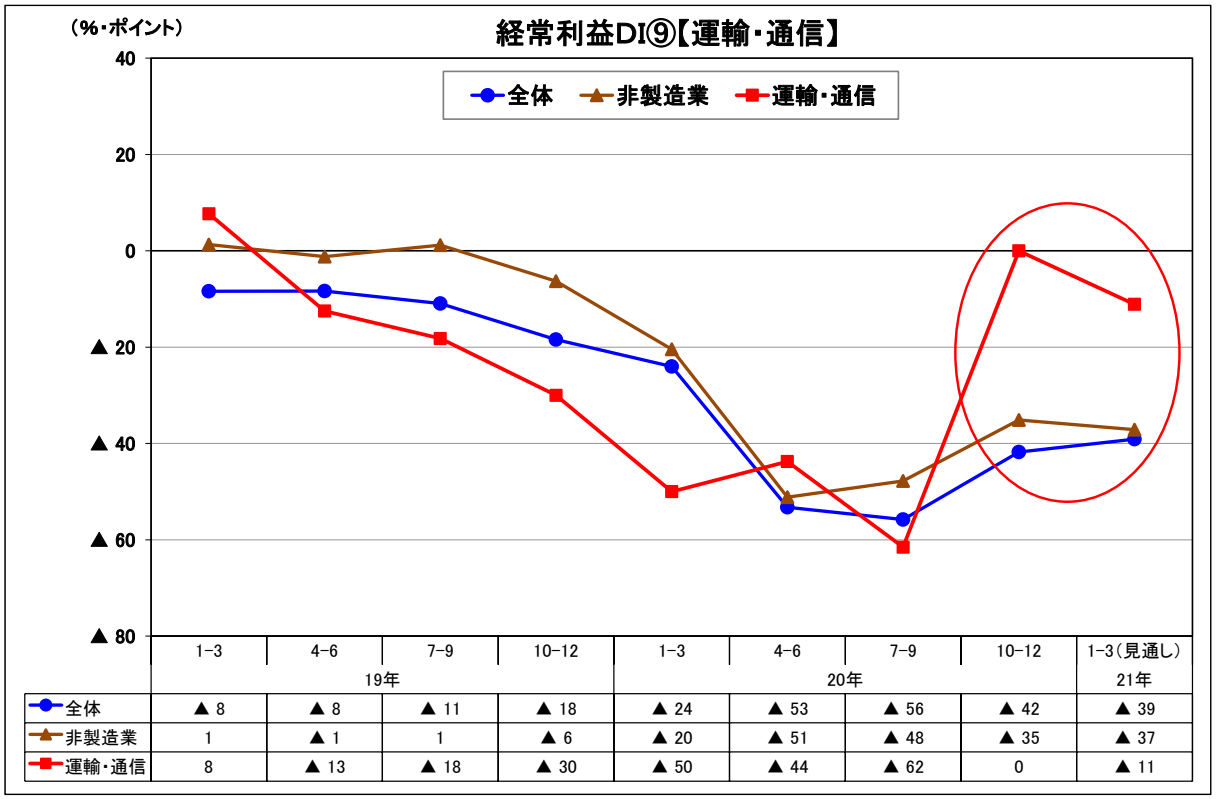
	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
全体	▲ 1	▲ 4	▲ 3	▲ 10	▲ 23	▲ 53	▲ 57	▲ 50	▲ 45
非製造業	6	9	7	▲ 1	▲ 23	▲ 52	▲ 48	▲ 39	▲ 43
運輸・通信	31	▲ 13	36	▲ 20	▲ 20	▲ 13	▲ 54	▲ 22	▲ 11

9.運輸・通信

アンケート調査分析③：経常利益DI

・今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では0（ゼロ）となり、前期（7－9月期、▲62）に比べ大幅に上昇し、もちあい水準となった。

・来期（21年1－3月期）の見通しをみると、県内企業は再びマイナス水準となるも（▲11）、非製造業（▲37）、全体（▲39）の水準を大きく上回る見通し。



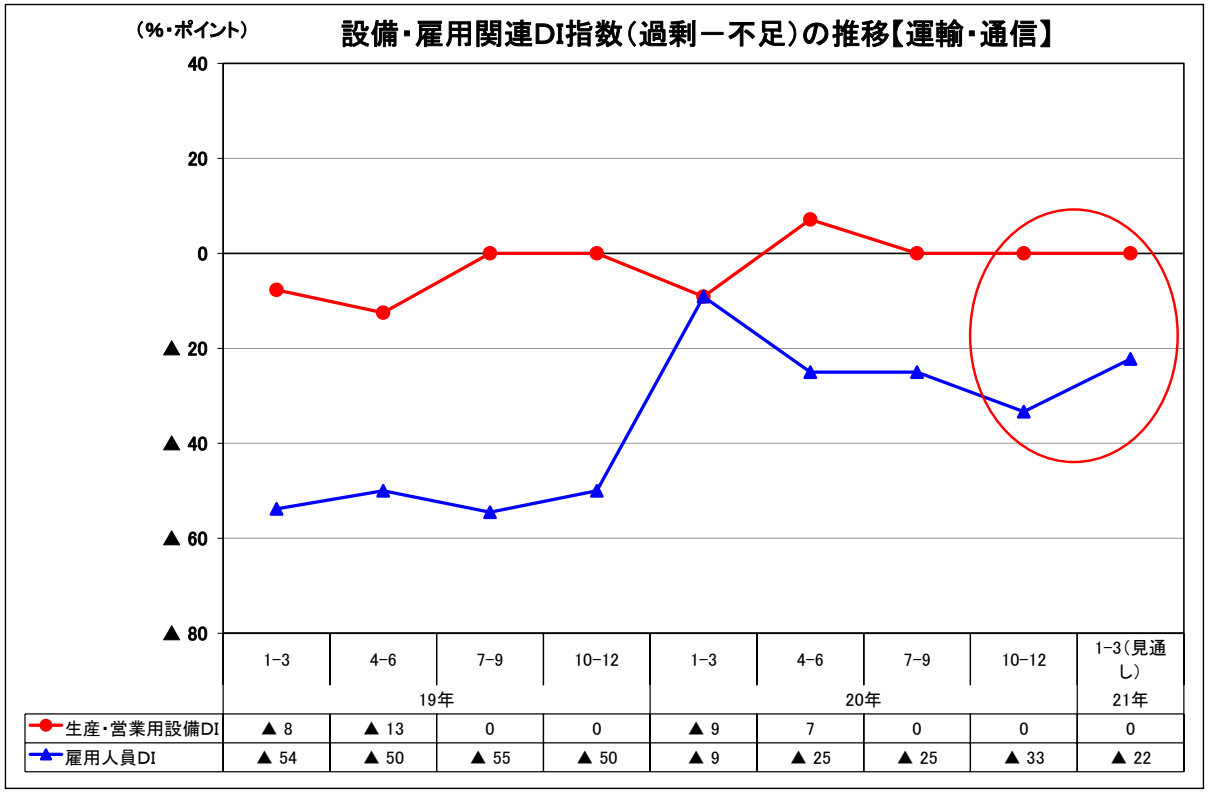
	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
全体	▲ 8	▲ 8	▲ 11	▲ 18	▲ 24	▲ 53	▲ 56	▲ 42	▲ 39
非製造業	1	▲ 1	1	▲ 6	▲ 20	▲ 51	▲ 48	▲ 35	▲ 37
運輸・通信	8	▲ 13	▲ 18	▲ 30	▲ 50	▲ 44	▲ 62	0	▲ 11

9.運輸・通信

アンケート調査分析④：設備・雇用関連DI

・「生産・営業用設備DI」の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では前期に続き0（ゼロ）となり、来期（21年1－3月期）の見通しも0で、持ち合い状態が続く見通し。

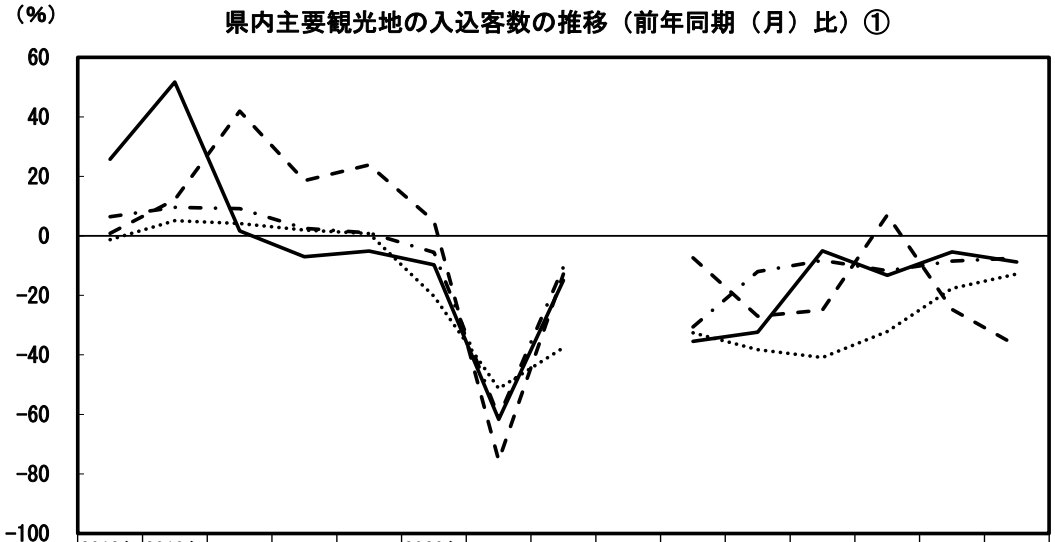
・「雇用人員DI」の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では▲33となり、不足感が続いている。来期（21年1－3月期）の見通しをみると、県内企業の不足感はやや弱まる見通し▲22）。



現状分析①：20年4－6月期を底に増加するも、依然前年割れ

- **「県内主要観光地の入込客数」**は、20年4－6月期が「緊急事態宣言」の外出自粛により前年同期を大幅に下回り、翌7－9月期には反転したものの、**依然、前年同期を下回っている。**
- 最近の動きは、「南部地域」は8月を底に増加、「大津地域」と「東近江地域」は横ばい、「甲賀地域」は減少傾向となっている。

県内主要観光地の入込客数の推移（前年同期（月）比）①



	2018年10-12月期	2019年1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	2020年1-3月期	4-6月期	7-9月期		2020年6月	7月	8月	9月	10月	11月
━━①大津地域小計（6か所）	25.8	51.7	1.6	-7.0	-5.1	-9.7	-61.7	-14.9		-35.4	-32.4	-5.0	-13.3	-5.4	-8.7
┅┅②南部地域小計（5か所）	-1.3	5.1	4.2	2.0	0.8	-20.3	-51.3	-37.6		-32.6	-38.3	-40.9	-32.1	-17.7	-12.8
━ ━ ③甲賀地域小計（3か所）	0.8	12.2	41.9	18.6	23.9	5.0	-75.5	-12.8		-7.4	-27.0	-24.9	7.0	-24.7	-36.9
━・━④東近江地域小計（8か所）	6.5	9.6	9.1	2.5	1.0	-5.5	-60.9	-10.5		-30.6	-12.0	-8.2	-11.7	-8.5	-7.4

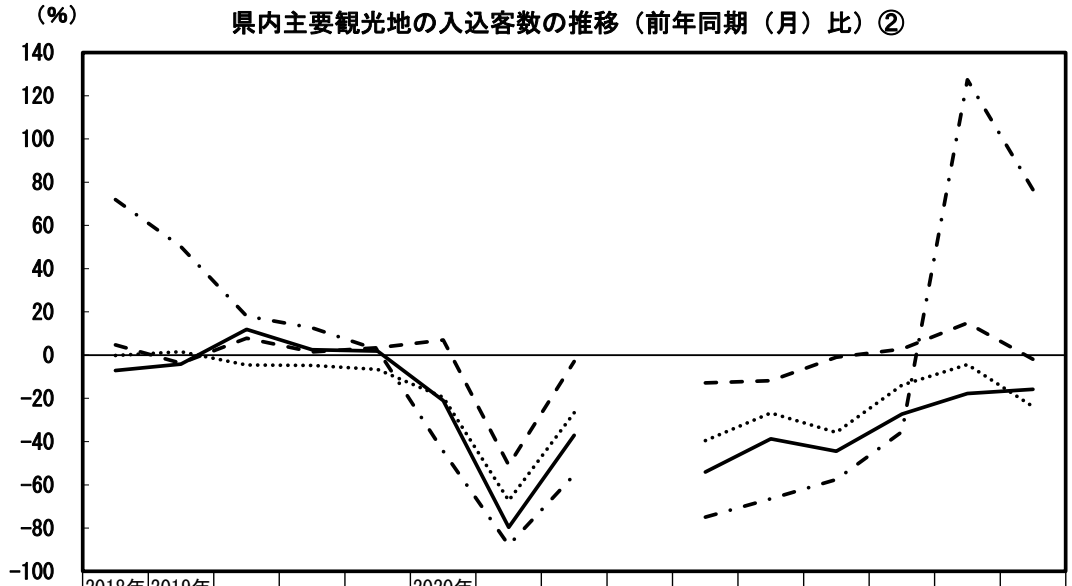
※①大津地域小計に含まれる［道の駅：妹子の郷］は、台風の影響で17年10月から18年3月まで営業停止

現状分析②:「シネコン」は「鬼滅の刃」で大幅増加

・最近の動きは、「湖東地域」は20年8月を底に増加、「湖北地域」と「湖西地域」は10月にかけて増加傾向がみられたが、11月は伸び悩んだ。

・「主要3シネコン」は映画「鬼滅の刃」の爆発的人気により10月、11月と大幅の増加となった。

県内主要観光地の入込客数の推移（前年同期（月）比）②

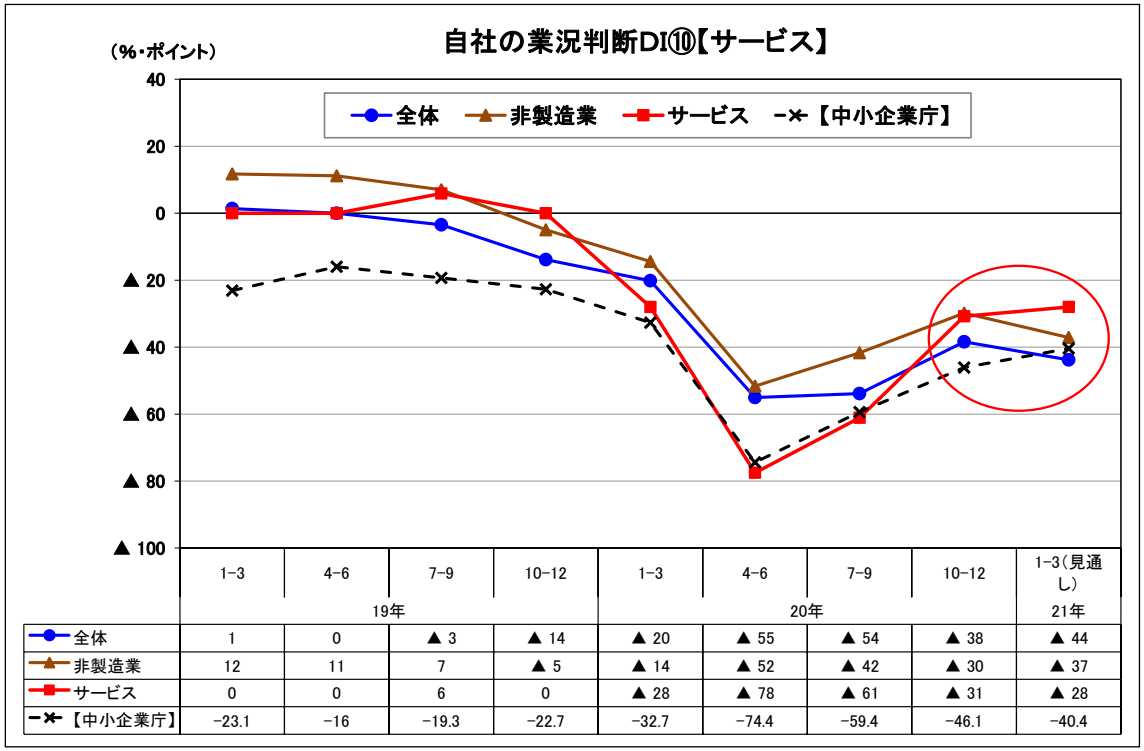


	2018年10-12月期	2019年1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	2020年1-3月期	4-6月期	7-9月期		2020年6月	7月	8月	9月	10月	11月
⑤湖東地域小計（3か所）	-7.1	-4.1	11.9	2.5	1.9	-21.0	-79.6	-37.1		-54.1	-38.7	-44.4	-27.2	-17.8	-15.8
⑥湖北地域小計（5か所）	-0.1	1.6	-4.6	-4.8	-6.6	-19.5	-67.2	-26.7		-39.5	-26.8	-35.8	-13.9	-4.3	-23.7
⑦湖西地域小計（4か所）	4.8	-3.8	7.8	1.5	3.4	7.0	-50.9	-2.9		-12.8	-11.8	-1.0	2.8	14.8	-1.9
主要3シネマコンプレックス	72.0	50.1	18.1	12.7	2.5	-44.5	-87.9	-55.4		-75.0	-66.4	-57.5	-35.5	127.4	76.6

10.サービス

アンケート調査分析①：自社の業況判断DI

- 今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」の中の「サービス」（n=26）は**▲31となり、20年4－6月期（▲78）を底に上昇したものの、依然水準は低い。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」の中の「サービス」（n=5,853）は▲46.1となり、これも4－6月期（▲74.4）を底に上昇している。なお、水準は県内企業のDIのほうが高い。
- 来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業、中小企業景況調査ともに上昇するも、引き続き低水準（順に▲28、▲40.4）。**

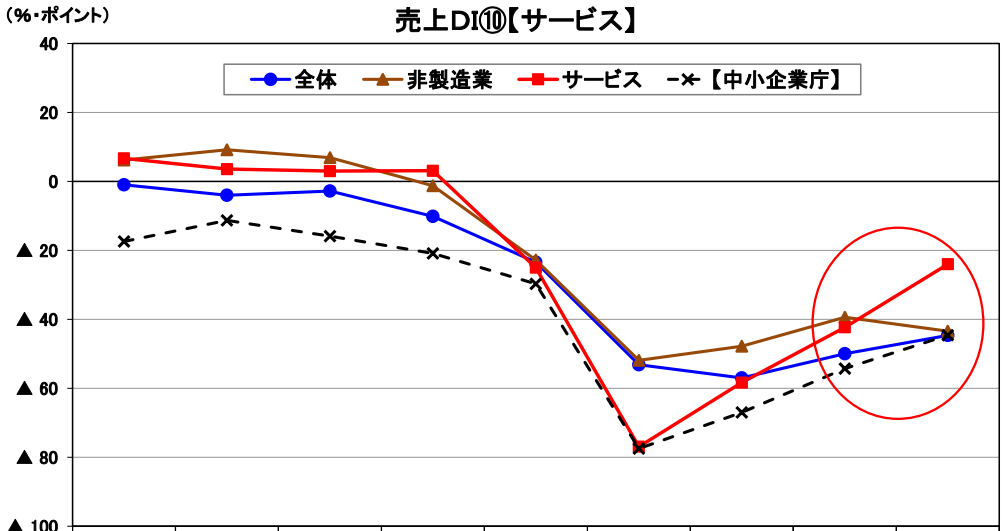


	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
全体	1	0	▲ 3	▲ 14	▲ 20	▲ 55	▲ 54	▲ 38	▲ 44
非製造業	12	11	7	▲ 5	▲ 14	▲ 52	▲ 42	▲ 30	▲ 37
サービス	0	0	6	0	▲ 28	▲ 78	▲ 61	▲ 31	▲ 28
【中小企業庁】	-23.1	-16	-19.3	-22.7	-32.7	-74.4	-59.4	-46.1	-40.4

10.サービス

アンケート調査分析②：売上DI

- 今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲42となり、20年4－6月期（▲77）を底に上昇しているが、依然水準は低い。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲54.3となり、これも4－6月期（▲77.5）を底にして上昇しているものの引き続き低水準。なお、水準は県内企業のDIのほうが高い。
- 来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業は大きく上昇（▲24）、**中小企業景況調査でも上昇するも、引き続き低水準（▲44.6）。

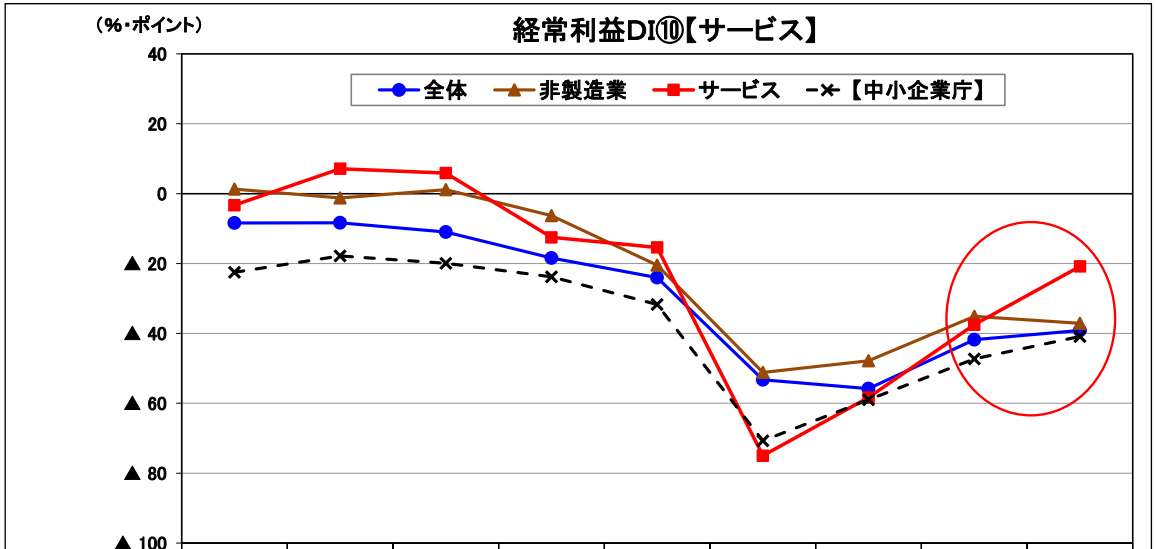


	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
全体	▲ 1	▲ 4	▲ 3	▲ 10	▲ 23	▲ 53	▲ 57	▲ 50	▲ 45
非製造業	6	9	7	▲ 1	▲ 23	▲ 52	▲ 48	▲ 39	▲ 43
サービス	7	4	3	3	▲ 25	▲ 77	▲ 58	▲ 42	▲ 24
【中小企業庁】	-17.4	-11.3	-15.9	-20.9	-29.7	-77.5	-67	-54.3	-44.6

10.サービス

アンケート調査分析③:経常利益DI

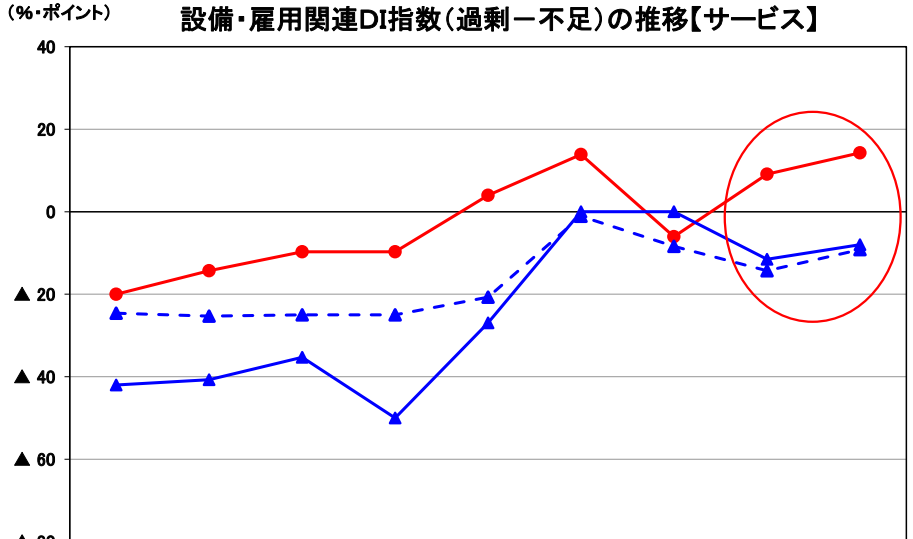
- 今期(20年10－12月期)をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲38となり、20年4－6月期(▲75)を底に上昇しているが、依然水準は低い。**
- 中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲47.3となり、これも4－6月期(▲70.7)を底にして上昇しているものの引き続き低水準。なお、水準は県内企業のDIのほうが高い。
- 来期(21年1－3月期)の見通しをみると、**県内企業は大きく上昇(▲21)**、中小企業景況調査でも上昇するも、引き続き低水準(▲40.9)。



	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3(見通し)
全体	▲ 8	▲ 8	▲ 11	▲ 18	▲ 24	▲ 53	▲ 56	▲ 42	▲ 39
非製造業	1	▲ 1	1	▲ 6	▲ 20	▲ 51	▲ 48	▲ 35	▲ 37
サービス	▲ 3	7	6	▲ 13	▲ 15	▲ 75	▲ 58	▲ 38	▲ 21
【中小企業庁】	-22.5	-17.8	-19.9	-23.8	-31.7	-70.7	-59	-47.3	-40.9

アンケート調査分析④：設備・雇用関連DI

- **「生産・営業用設備DI」**の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**9となり、前期の不足感から一転、過剰感がみられるようになった。**
- **「雇用人員DI」**の今期（20年10－12月期）をみると、弊社の「県内企業動向調査」では**▲12となり、不足感が出てきた。**中小企業庁の「中小企業景況調査」では▲14.3となり、不足感がやや強まった。来期（21年1－3月期）の見通しをみると、**県内企業、中小企業景況調査ともに不足感はやや弱まる見込み（順に▲8、▲9.2）。**



	19年 1-3	19年 4-6	19年 7-9	19年 10-12	20年 1-3	20年 4-6	20年 7-9	20年 10-12	21年 1-3（見通し）
生産・営業用設備DI	▲ 20	▲ 14	▲ 10	▲ 10	4	14	▲ 6	9	14
雇用人員DI	▲ 42	▲ 41	▲ 35	▲ 50	▲ 27	0	0	▲ 12	▲ 8
【中小企業庁】従業員数DI	−24.6	−25.3	−25	−25	−20.7	−1.1	−8.4	−14.3	−9.2

【参考データ】

①業況判断DI（良い－悪い）

①業況判断DI（良い－悪い）

DI

年	19年				20年				21年	回答数（n）	業種
期	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3（見通し）	10-12月期	
	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	見通し		
全体	1	0	▲ 3	▲ 14	▲ 20	▲ 55	▲ 54	▲ 38	▲ 44	307	全体
製造業	▲ 11	▲ 13	▲ 16	▲ 24	▲ 28	▲ 59	▲ 69	▲ 49	▲ 52	136	製造業
非製造業	12	11	7	▲ 5	▲ 14	▲ 52	▲ 42	▲ 30	▲ 37	171	非製造業
全体	1	0	▲ 3	▲ 14	▲ 20	▲ 55	▲ 54	▲ 38	▲ 44	307	全体
製造業	▲ 11	▲ 13	▲ 16	▲ 24	▲ 28	▲ 59	▲ 69	▲ 49	▲ 52	136	製造業
繊維	▲ 46	▲ 37	▲ 31	▲ 57	▲ 27	▲ 90	▲ 76	▲ 81	▲ 81	16	繊維
木材・木製品	▲ 63	▲ 25	▲ 33	▲ 13	▲ 14	▲ 100	▲ 57	▲ 100	▲ 100	5	木材・木製品
紙・パルプ	▲ 33	50	▲ 40	50	100	0	0	0	33	3	紙・パルプ
化学	▲ 17	25	▲ 36	▲ 25	14	▲ 40	▲ 83	▲ 50	▲ 50	8	化学
石油・石炭	0	0	0	0	▲ 100	0	▲ 75	0	0	0	石油・石炭
窯業・土石	0	▲ 25	20	▲ 25	▲ 17	▲ 71	▲ 71	▲ 50	▲ 50	8	窯業・土石
鉄鋼	50	25	▲ 33	0	100	0	0	0	0	0	鉄鋼
非鉄金属	100	0	50	▲ 33	▲ 100	0	▲ 43	0	100	1	非鉄金属
食料品	▲ 29	▲ 23	▲ 11	▲ 33	▲ 55	▲ 69	▲ 92	▲ 56	▲ 60	16	食料品
金属製品	▲ 5	0	▲ 11	▲ 18	▲ 38	▲ 82	▲ 92	▲ 19	▲ 55	21	金属製品
一般機械	50	0	33	8	38	▲ 47	▲ 15	▲ 40	▲ 63	10	一般機械
電気機械	▲ 18	▲ 9	▲ 31	▲ 25	▲ 50	▲ 36	▲ 50	▲ 45	▲ 36	11	電気機械
輸送用機械	75	▲ 67	▲ 33	▲ 20	▲ 25	▲ 100	▲ 60	▲ 25	▲ 50	4	輸送用機械
精密機械	▲ 25	▲ 60	▲ 43	▲ 50	▲ 100	▲ 33	▲ 100	▲ 100	▲ 100	2	精密機械
その他の製造	▲ 4	▲ 12	▲ 12	▲ 32	▲ 52	▲ 47	▲ 71	▲ 52	▲ 39	31	その他の製造
非製造業	12	11	7	▲ 5	▲ 14	▲ 52	▲ 42	▲ 30	▲ 37	171	非製造業
建設業	30	25	29	15	19	▲ 33	▲ 26	▲ 13	▲ 32	53	建設業
不動産	▲ 8	27	▲ 20	27	22	▲ 38	▲ 6	▲ 7	▲ 15	15	不動産
卸売	17	7	9	▲ 7	▲ 26	▲ 54	▲ 41	▲ 55	▲ 55	29	卸売
小売	0	▲ 5	▲ 26	▲ 50	▲ 47	▲ 65	▲ 50	▲ 48	▲ 48	23	小売
運輸・通信	8	0	9	▲ 20	▲ 27	▲ 44	▲ 67	▲ 33	▲ 22	9	運輸・通信
電気・ガス	0	0	0	▲ 50	▲ 20	▲ 50	▲ 75	▲ 40	▲ 50	5	電気・ガス
サービス	0	0	6	0	▲ 28	▲ 78	▲ 61	▲ 31	▲ 28	26	サービス
リース	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	リース
その他非製造	▲ 25	0	0	▲ 36	▲ 45	▲ 36	▲ 40	▲ 27	▲ 45	11	その他非製造

【参考データ】

業況判断DI(「良い」のフリーアンサー)

製造業(良)

業種	事象
化学	自動車関連事業の売上が増加。 新型コロナウイルスの影響で受注減少の取引先もあれば、急回復で100%以上の取引先もあり、トータルでは100%。
食料品	新型コロナウイルスの影響で、9月までは売上減少が大きかったが、10月はGoToキャンペーン効果もあり、ほぼ前年並みの売上に回復してきた。 量販店の売上は10%増加も、直売店の売上は10%減少。
金属製品	短期の判断となると受注残が12月迄あるため、コロナ禍以前の受注単価となるため。
電気機械	輸出向けの売上が増加した。

非製造業(良)

業種	事象
建設	昨年オリンピック関係の売上が特別にあったため、今年は売上減少。 コロナ発生前の受注工事の繰越しがあり、令和3年上半期までは堅調に推移するも、民間設備投資の冷え込みにより、下半期は下方推移を見込む。 10-12月期は手持工事の消化から売上高が大幅に増加するも、1-3月期は売上高減少の見通し。 現在は新型コロナウイルスの影響も少なく、例年通り推移しているが、来年以降何らかの影響は出てきそう。
小売	人口減少、世帯数減少が進んでいるため、市場分母が小さくなっている。
サービス	新型コロナウイルスの影響で、受注が増加した。

【参考データ】

業況判断DI(「悪い」のフリーアンサー:製造業)

製造業(悪)

業種	事象
繊維	アパレル向けが、新型コロナウイルスの影響で大幅に減少。 9～10月にかけて急激に悪化している。 コロナ禍の影響で、7月より売上が約半減。 新型コロナウイルスの影響で催事販売が出来ず、売上が70%減少。 新型コロナウイルスの影響で、衣料品の売上が20%減少した。
化学	新型コロナウイルスの影響で、取引先からの受注が約10%減少している。 新型コロナウイルスの影響で、1月～10月の10か月で前年対比で売上24%減少。
食料品	新型コロナウイルスの影響で、売上が30%減少した。 新型コロナウイルスの影響で、メインユーザーであるホテル、外食関係の売上が減少。 新型コロナウイルスの影響により、売上がほぼ半減。
金属製品	新型コロナウイルスや、米中関係の影響が続いており、売上は前年対比30～40%減少の状態が続いている。 自動車業界全体の不況や新型コロナウイルスの影響により、売上は前年対比30%減少。需要は急激に回復するも、人員不足で生産対応できず。
一般機械	新型コロナウイルスの影響により、売上が前年対比20%減少した。 新型コロナウイルスの影響で、工事の規模が縮小。今後も不透明。 設備投資意欲の低下により受注が減っている。 新型コロナウイルスの影響で、営業活動の停滞。
電気機械	新型コロナウイルスの影響で、売上が13%減少。 海外向けが回復してきたもののまだ不芳。先行きは不透明。

【参考データ】

業況判断DI(「悪い」のフリーアンサー:非製造業)

非製造業(悪)

業種	事象
建設	公共工事の減少で、受注が65%減少した。 新型コロナウイルスの影響で、分譲地のイベントができず、売上が減少。 コロナ禍の影響で、顧客の設備投資が抑制されている。 新型コロナウイルスの影響で顧客の設備投資が延期となり、売上が30%減少。
小売	新型コロナウイルスの影響で、農家の設備投資意欲が減退。また、今年は台風がなく、ハウス修理依頼が減少。 新型コロナウイルスの影響で、売上が半分以下になった。 新型コロナウイルスの影響で、売上が約20%減少。 新型コロナウイルスの影響で、中古車・新車の販売が10～20%減少。
運輸・通信	輸送量が28%減少。 新型コロナウイルスの影響による売上減少は徐々に回復傾向にあるものの、一部部門では未だ売上が80～90%。 新型コロナウイルスにより、得意先の仕事が減少。 売上が18%減少した。
サービス	新型コロナウイルスの影響で、学校販売の売上が20%減少。 新型コロナウイルスの影響で顧客が減少し、売上が50%に減少。 新型コロナウイルスの影響で、宴会(10名以上)の売上が8割以上減少した。

【参考データ】

②売上高DI（増加－減少）

②売上高DI（増加－減少）

DI

年	19年				20年				21年	業種
期	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3（見通し）	
	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	見通し	
全体	▲ 1	▲ 4	▲ 3	▲ 10	▲ 23	▲ 53	▲ 57	▲ 50	▲ 45	全体
製造業	▲ 10	▲ 20	▲ 14	▲ 21	▲ 24	▲ 55	▲ 68	▲ 63	▲ 46	製造業
非製造業	6	9	7	▲ 1	▲ 23	▲ 52	▲ 48	▲ 39	▲ 43	非製造業
全体	▲ 1	▲ 4	▲ 3	▲ 10	▲ 23	▲ 53	▲ 57	▲ 50	▲ 45	全体
製造業	▲ 10	▲ 20	▲ 14	▲ 21	▲ 24	▲ 55	▲ 68	▲ 63	▲ 46	製造業
繊維	▲ 32	▲ 21	▲ 25	▲ 22	▲ 20	▲ 73	▲ 82	▲ 75	▲ 69	繊維
木材・木製品	0	▲ 38	▲ 83	▲ 38	▲ 14	▲ 86	▲ 57	▲ 100	▲ 80	木材・木製品
紙・パルプ	▲ 33	50	40	25	67	67	0	33	33	紙・パルプ
化学	14	33	▲ 27	25	0	▲ 30	▲ 83	▲ 75	▲ 38	化学
石油・石炭	0	0	0	0	▲ 100	0	▲ 100	0	0	石油・石炭
窯業・土石	0	▲ 25	0	0	▲ 33	▲ 57	▲ 86	▲ 38	▲ 63	窯業・土石
鉄鋼	100	25	▲ 33	▲ 100	100	0	▲ 100	0	0	鉄鋼
非鉄金属	100	▲ 100	▲ 100	▲ 100	▲ 100	▲ 25	▲ 57	▲ 100	0	非鉄金属
食料品	▲ 50	▲ 50	▲ 6	▲ 45	▲ 64	▲ 69	▲ 85	▲ 75	▲ 60	食料品
金属製品	16	▲ 16	▲ 11	▲ 35	▲ 38	▲ 77	▲ 71	▲ 71	▲ 65	金属製品
一般機械	0	0	25	8	13	▲ 33	▲ 46	▲ 70	▲ 56	一般機械
電気機械	▲ 45	▲ 27	▲ 15	▲ 36	▲ 50	▲ 36	▲ 70	▲ 55	▲ 45	電気機械
輸送用機械	50	▲ 67	▲ 33	▲ 20	0	▲ 100	▲ 20	▲ 100	▲ 75	輸送用機械
精密機械	▲ 25	▲ 60	▲ 57	▲ 50	▲ 100	▲ 83	▲ 100	▲ 100	▲ 100	精密機械
その他の製造	▲ 8	▲ 20	▲ 4	▲ 14	▲ 16	▲ 47	▲ 61	▲ 45	▲ 7	その他の製造
非製造業	6	9	7	▲ 1	▲ 23	▲ 52	▲ 48	▲ 39	▲ 43	非製造業
建設業	9	8	9	▲ 6	▲ 14	▲ 44	▲ 50	▲ 32	▲ 47	建設業
不動産	8	▲ 13	▲ 10	27	0	▲ 23	▲ 18	▲ 27	▲ 27	不動産
卸売	4	27	26	24	▲ 12	▲ 61	▲ 31	▲ 59	▲ 62	卸売
小売	▲ 6	14	▲ 18	▲ 25	▲ 53	▲ 51	▲ 58	▲ 48	▲ 48	小売
運輸・通信	31	▲ 13	36	▲ 20	▲ 20	▲ 13	▲ 54	▲ 22	▲ 11	運輸・通信
電気・ガス	▲ 100	0	0	▲ 50	▲ 40	▲ 75	▲ 75	▲ 50	▲ 67	電気・ガス
サービス	7	4	3	3	▲ 25	▲ 77	▲ 58	▲ 42	▲ 24	サービス
リース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	リース
その他非製造	0	33	20	▲ 21	▲ 27	▲ 57	▲ 40	▲ 27	▲ 55	その他非製造

【参考データ】

③経常利益DI（増加－減少）

③経常利益DI（増加－減少）

DI

年	19年				20年				21年	業種
期	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3（見通し）	
	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	見通し	
全体	▲ 8	▲ 8	▲ 11	▲ 18	▲ 24	▲ 53	▲ 56	▲ 42	▲ 39	全体
製造業	▲ 20	▲ 17	▲ 25	▲ 33	▲ 29	▲ 56	▲ 66	▲ 50	▲ 42	製造業
非製造業	1	▲ 1	1	▲ 6	▲ 20	▲ 51	▲ 48	▲ 35	▲ 37	非製造業
全体	▲ 8	▲ 8	▲ 11	▲ 18	▲ 24	▲ 53	▲ 56	▲ 42	▲ 39	全体
製造業	▲ 20	▲ 17	▲ 25	▲ 33	▲ 29	▲ 56	▲ 66	▲ 50	▲ 42	製造業
繊維	▲ 32	▲ 32	▲ 38	▲ 43	▲ 27	▲ 82	▲ 81	▲ 88	▲ 75	繊維
木材・木製品	▲ 50	▲ 50	▲ 83	▲ 50	▲ 29	▲ 86	▲ 57	▲ 100	▲ 100	木材・木製品
紙・パルプ	▲ 67	50	▲ 20	0	67	67	50	▲ 33	0	紙・パルプ
化学	▲ 14	44	▲ 55	▲ 50	29	▲ 10	▲ 75	0	0	化学
石油・石炭	0	0	0	0	▲ 100	0	▲ 100	0	0	石油・石炭
窯業・土石	▲ 50	▲ 50	0	13	▲ 17	▲ 43	▲ 71	▲ 63	▲ 63	窯業・土石
鉄鋼	50	0	▲ 100	▲ 100	100	0	0	0	0	鉄鋼
非鉄金属	50	0	▲ 100	▲ 100	▲ 100	0	▲ 57	▲ 100	0	非鉄金属
食料品	▲ 36	▲ 15	▲ 6	▲ 33	▲ 55	▲ 69	▲ 92	▲ 44	▲ 13	食料品
金属製品	0	▲ 16	▲ 11	▲ 24	▲ 43	▲ 73	▲ 71	▲ 57	▲ 80	金属製品
一般機械	0	8	0	▲ 8	13	▲ 33	▲ 38	▲ 40	▲ 56	一般機械
電気機械	▲ 46	▲ 9	▲ 15	▲ 27	▲ 42	▲ 43	▲ 60	▲ 45	▲ 45	電気機械
輸送用機械	50	▲ 67	▲ 67	▲ 80	▲ 75	▲ 100	▲ 40	0	25	輸送用機械
精密機械	▲ 25	▲ 60	▲ 71	▲ 50	▲ 100	▲ 83	▲ 100	▲ 100	▲ 100	精密機械
その他の製造	▲ 13	▲ 24	▲ 8	▲ 32	▲ 36	▲ 58	▲ 61	▲ 39	▲ 13	その他の製造
非製造業	1	▲ 1	1	▲ 6	▲ 20	▲ 51	▲ 48	▲ 35	▲ 37	非製造業
建設業	7	0	▲ 2	▲ 13	▲ 4	▲ 47	▲ 52	▲ 42	▲ 46	建設業
不動産	8	▲ 20	▲ 10	20	0	▲ 31	▲ 24	▲ 20	▲ 27	不動産
卸売	4	0	22	21	▲ 26	▲ 58	▲ 34	▲ 48	▲ 52	卸売
小売	▲ 12	0	▲ 11	▲ 13	▲ 47	▲ 37	▲ 50	▲ 43	▲ 30	小売
運輸・通信	8	▲ 13	▲ 18	▲ 30	▲ 50	▲ 44	▲ 62	0	▲ 11	運輸・通信
電気・ガス	0	0	0	0	▲ 20	▲ 75	▲ 50	▲ 40	▲ 50	電気・ガス
サービス	▲ 3	7	6	▲ 13	▲ 15	▲ 75	▲ 58	▲ 38	▲ 21	サービス
リース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	リース
その他非製造	▲ 25	0	22	▲ 23	▲ 18	▲ 36	▲ 40	9	▲ 36	その他非製造

④生産・営業用設備DI（過剰－不足）

④生産・営業用設備DI（過剰－不足）
生産・営業用設備DI
DI

年	19年				20年				21年	業種
期	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3（見通し）	
	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	見通し	
全体	▲ 7	▲ 6	▲ 9	▲ 6	2	5	5	5	5	全体
製造業	▲ 7	▲ 1	▲ 8	▲ 4	5	12	13	12	11	製造業
非製造業	▲ 7	▲ 11	▲ 9	▲ 7	▲ 1	0	▲ 2	▲ 1	1	非製造業
全体	▲ 7	▲ 6	▲ 9	▲ 6	2	5	5	5	5	全体
製造業	▲ 7	▲ 1	▲ 8	▲ 4	5	12	13	12	11	製造業
繊維	9	16	13	14	13	23	18	13	13	繊維
木材・木製品	0	▲ 13	▲ 17	▲ 38	0	▲ 14	▲ 14	0	0	木材・木製品
紙・パルプ	33	0	▲ 20	▲ 25	▲ 33	0	0	▲ 33	▲ 33	紙・パルプ
化学	▲ 14	▲ 11	▲ 18	▲ 11	0	10	42	38	38	化学
石油・石炭	0	0	0	0	100	0	25	0	0	石油・石炭
窯業・土石	17	25	0	▲ 13	0	14	14	13	13	窯業・土石
鉄鋼	▲ 50	0	0	0	0	0	0	0	0	鉄鋼
非鉄金属	▲ 50	0	0	0	0	▲ 25	0	0	0	非鉄金属
食料品	▲ 22	▲ 8	▲ 22	22	0	25	25	7	7	食料品
金属製品	▲ 11	0	▲ 11	12	10	18	21	19	21	金属製品
一般機械	0	▲ 8	▲ 8	▲ 8	▲ 13	0	0	10	10	一般機械
電気機械	▲ 18	▲ 9	0	0	8	7	0	18	0	電気機械
輸送用機械	▲ 25	0	0	▲ 40	0	50	0	0	0	輸送用機械
精密機械	25	20	0	0	0	0	33	0	0	精密機械
その他の製造	▲ 16	▲ 4	▲ 12	▲ 11	8	14	7	10	13	その他の製造
非製造業	▲ 7	▲ 11	▲ 9	▲ 7	▲ 1	▲ 0	▲ 2	▲ 1	1	非製造業
建設業	0	▲ 12	▲ 12	▲ 4	▲ 4	▲ 7	▲ 4	▲ 2	▲ 6	建設業
不動産	▲ 9	▲ 15	▲ 13	0	0	▲ 8	0	▲ 14	▲ 7	不動産
卸売	▲ 13	▲ 7	0	▲ 10	3	6	4	3	3	卸売
小売	▲ 6	▲ 9	▲ 18	▲ 14	3	▲ 12	3	▲ 4	4	小売
運輸・通信	▲ 8	▲ 13	0	0	▲ 9	7	0	0	0	運輸・通信
電気・ガス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	電気・ガス
サービス	▲ 20	▲ 14	▲ 10	▲ 10	4	14	▲ 6	9	14	サービス
リース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	リース
その他非製造	13	▲ 17	0	0	▲ 11	0	▲ 13	0	0	その他非製造

【参考データ】

⑤雇用人員DI(過剰－不足)

⑤雇用人員DI(過剰－不足)
雇用人員DI
DI

年	19年				20年				21年	業種
期	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3(見通し)	
	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	見通し	
全体	▲ 37	▲ 32	▲ 37	▲ 33	▲ 25	▲ 1	1	▲ 8	▲ 10	全体
製造業	▲ 27	▲ 21	▲ 26	▲ 17	▲ 11	13	15	7	5	製造業
非製造業	▲ 45	▲ 42	▲ 46	▲ 47	▲ 35	▲ 11	▲ 12	▲ 20	▲ 21	非製造業
全体	▲ 37	▲ 32	▲ 37	▲ 33	▲ 25	▲ 1	1	▲ 8	▲ 10	全体
製造業	▲ 27	▲ 21	▲ 26	▲ 17	▲ 11	13	15	7	5	製造業
繊維	▲ 5	▲ 11	▲ 6	▲ 14	0	18	6	19	19	繊維
木材・木製品	▲ 38	▲ 38	▲ 17	▲ 13	▲ 29	0	14	0	0	木材・木製品
紙・パルプ	0	50	20	▲ 25	▲ 33	▲ 33	50	0	▲ 33	紙・パルプ
化学	0	▲ 33	▲ 46	▲ 33	▲ 14	0	42	25	13	化学
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	▲ 50	0	0	石油・石炭
窯業・土石	▲ 33	0	0	0	0	▲ 14	0	25	25	窯業・土石
鉄鋼	▲ 100	▲ 75	▲ 67	0	0	▲ 100	0	0	0	鉄鋼
非鉄金属	▲ 50	0	▲ 50	▲ 33	▲ 100	▲ 50	14	0	0	非鉄金属
食料品	▲ 29	▲ 31	▲ 39	▲ 11	0	31	33	0	13	食料品
金属製品	▲ 42	0	▲ 17	▲ 12	▲ 5	32	38	▲ 10	▲ 15	金属製品
一般機械	▲ 20	▲ 25	▲ 17	0	▲ 13	11	▲ 8	0	10	一般機械
電気機械	▲ 36	▲ 18	▲ 46	▲ 18	▲ 17	0	0	18	0	電気機械
輸送用機械	▲ 50	▲ 67	▲ 33	▲ 80	▲ 25	75	▲ 20	0	0	輸送用機械
精密機械	▲ 25	▲ 20	▲ 29	17	0	0	33	50	0	精密機械
その他の製造	▲ 28	▲ 24	▲ 31	▲ 25	▲ 16	17	15	3	6	その他の製造
非製造業	▲ 45	▲ 42	▲ 46	▲ 47	▲ 35	▲ 11	▲ 12	▲ 20	▲ 21	非製造業
建設業	▲ 50	▲ 65	▲ 70	▲ 68	▲ 71	▲ 38	▲ 40	▲ 45	▲ 42	建設業
不動産	▲ 18	▲ 20	▲ 10	▲ 9	22	8	▲ 6	▲ 13	▲ 27	不動産
卸売	▲ 50	▲ 17	▲ 35	▲ 28	▲ 18	3	0	▲ 3	▲ 17	卸売
小売	▲ 53	▲ 50	▲ 43	▲ 63	▲ 33	0	0	▲ 4	▲ 4	小売
運輸・通信	▲ 54	▲ 50	▲ 55	▲ 50	▲ 9	▲ 25	▲ 25	▲ 33	▲ 22	運輸・通信
電気・ガス	▲ 50	▲ 33	▲ 33	0	▲ 20	▲ 25	▲ 25	▲ 20	▲ 25	電気・ガス
サービス	▲ 42	▲ 41	▲ 35	▲ 50	▲ 27	0	0	▲ 12	▲ 8	サービス
リース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	リース
その他非製造	▲ 13	0	▲ 20	▲ 22	▲ 9	0	30	0	9	その他非製造

【参考データ】

⑥【中小企業庁】業況判断DI（良い－悪い）

①業況判断DI（良い－悪い）

【中小企業庁】

DI

年	19年				20年				21年	回答数（n）
期	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	10-12月期
	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	見通し	
全体	▲ 25.0	▲ 20.2	▲ 23.5	▲ 26.9	▲ 36.3	▲ 68.1	▲ 57.2	▲ 45.4	▲ 39.2	18,231
製造業	▲ 22.0	▲ 19.8	▲ 26.1	▲ 28.3	▲ 41.0	▲ 71.2	▲ 66.3	▲ 53.5	▲ 42.1	4,471
非製造業	▲ 26.0	▲ 20.3	▲ 22.6	▲ 26.4	▲ 34.7	▲ 67.1	▲ 54.3	▲ 43.0	▲ 38.3	13,760
全体	▲ 25.0	▲ 20.2	▲ 23.5	▲ 26.9	▲ 36.3	▲ 68.1	▲ 57.2	▲ 45.4	▲ 39.2	18,231
製造業	▲ 22.0	▲ 19.8	▲ 26.1	▲ 28.3	▲ 41.0	▲ 71.2	▲ 66.3	▲ 53.5	▲ 42.1	4,471
繊維工業	▲ 28.4	▲ 21.8	▲ 31.3	▲ 39.4	▲ 46.7	▲ 78.7	▲ 69.9	▲ 65.3	▲ 59.1	404
化学	▲ 6.7	2.8	▲ 5.6	▲ 16.6	▲ 26.8	▲ 49.9	▲ 46.4	▲ 45.6	▲ 35.2	68
食料品	▲ 29.5	▲ 16.6	▲ 28.6	▲ 26.2	▲ 40.8	▲ 75.9	▲ 60.3	▲ 41.3	▲ 30.6	940
金属製品	▲ 9.5	▲ 20.3	▲ 21.5	▲ 25.3	▲ 38.1	▲ 62.2	▲ 66.7	▲ 57.7	▲ 41.1	468
機械器具	▲ 6.5	▲ 17.7	▲ 21.2	▲ 30.2	▲ 42.8	▲ 69.6	▲ 70.5	▲ 62.0	▲ 46.3	569
電気・情報通信機械器具・電子部品	▲ 22.9	▲ 31.9	▲ 27.1	▲ 26.1	▲ 41.5	▲ 64.5	▲ 68.6	▲ 48.8	▲ 38.3	189
非製造業	▲ 26.0	▲ 20.3	▲ 22.6	▲ 26.4	▲ 34.7	▲ 67.1	▲ 54.3	▲ 43.0	▲ 38.3	13,760
建設業	▲ 3.8	▲ 0.8	0.1	▲ 1.9	▲ 9.2	▲ 35.8	▲ 28.5	▲ 20.1	▲ 27.7	2,338
小売業	▲ 40.7	▲ 34.8	▲ 37.2	▲ 42.0	▲ 48.3	▲ 72.1	▲ 58.3	▲ 48.3	▲ 41.1	4,448
サービス	▲ 23.1	▲ 16.0	▲ 19.3	▲ 22.7	▲ 32.7	▲ 74.4	▲ 59.4	▲ 46.1	▲ 40.4	5,853

【参考データ】

⑦【中小企業庁】売上高DI（増加－減少）

②売上高DI（増加－減少）

【中小企業庁】

DI

年	19年				20年				21年
期	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	見通し
全体	▲ 19.7	▲ 15.8	▲ 19.9	▲ 26.1	▲ 34.0	▲ 70.5	▲ 62.8	▲ 51.6	▲ 43.7
製造業	▲ 16.9	▲ 14.3	▲ 20.2	▲ 26.9	▲ 39.5	▲ 72.7	▲ 68.7	▲ 59.9	▲ 46.7
非製造業	▲ 20.6	▲ 16.3	▲ 19.8	▲ 25.9	▲ 32.0	▲ 69.8	▲ 60.9	▲ 48.9	▲ 42.7
全体	▲ 19.7	▲ 15.8	▲ 19.9	▲ 26.1	▲ 34.0	▲ 70.5	▲ 62.8	▲ 51.6	▲ 43.7
製造業	▲ 16.9	▲ 14.3	▲ 20.2	▲ 26.9	▲ 39.5	▲ 72.7	▲ 68.7	▲ 59.9	▲ 46.7
繊維工業	▲ 18.8	▲ 14.9	▲ 23.2	▲ 32.5	▲ 42.1	▲ 79.3	▲ 70.8	▲ 67.1	▲ 61.1
化学	▲ 2.7	11.3	▲ 11.3	▲ 19.4	▲ 28.1	▲ 63.1	▲ 48.5	▲ 48.5	▲ 41.2
食料品	▲ 23.7	▲ 12.1	▲ 21.5	▲ 24.8	▲ 37.3	▲ 77.9	▲ 62.3	▲ 50.3	▲ 34.5
金属製品	▲ 9.7	▲ 16.6	▲ 16.4	▲ 29.5	▲ 39.7	▲ 66.4	▲ 71.2	▲ 65.7	▲ 41.2
機械器具	▲ 9.3	▲ 21.0	▲ 26.7	▲ 36.7	▲ 45.6	▲ 67.5	▲ 70.3	▲ 63.8	▲ 51.4
電気・情報通信機械器具・電子部品	▲ 18.1	▲ 26.4	▲ 26.5	▲ 28.6	▲ 38.9	▲ 62.2	▲ 65.0	▲ 49.8	▲ 46.0
非製造業	▲ 20.6	▲ 16.3	▲ 19.8	▲ 25.9	▲ 32.0	▲ 69.8	▲ 60.9	▲ 48.9	▲ 42.7
建設業	▲ 4.4	▲ 4.7	▲ 2.7	▲ 5.9	▲ 13.3	▲ 41.2	▲ 38.1	▲ 29.0	▲ 31.9
小売業	▲ 33.6	▲ 28.3	▲ 33.3	▲ 41.2	▲ 43.3	▲ 73.9	▲ 63.4	▲ 51.0	▲ 46.4
サービス	▲ 17.4	▲ 11.3	▲ 15.9	▲ 20.9	▲ 29.7	▲ 77.5	▲ 67.0	▲ 54.3	▲ 44.6

【参考データ】

⑧【中小企業庁】経常利益DI（増加－減少）

③経常利益DI（好転－悪化）

【中小企業庁】

DI

年	19年				20年				21年
期	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	見通し
全体	▲ 23.4	▲ 20.7	▲ 21.9	▲ 26.2	▲ 32.9	▲ 64.1	▲ 55.4	▲ 45.2	▲ 40.1
製造業	▲ 22.7	▲ 20.0	▲ 21.9	▲ 26.8	▲ 36.2	▲ 65.9	▲ 62.3	▲ 51.9	▲ 43.8
非製造業	▲ 23.7	▲ 21.0	▲ 21.9	▲ 26.1	▲ 31.8	▲ 63.5	▲ 53.3	▲ 43.1	▲ 39.1
全体	▲ 23.4	▲ 20.7	▲ 21.9	▲ 26.2	▲ 32.9	▲ 64.1	▲ 55.4	▲ 45.2	▲ 40.1
製造業	▲ 22.7	▲ 20.0	▲ 21.9	▲ 26.8	▲ 36.2	▲ 65.9	▲ 62.3	▲ 51.9	▲ 43.8
繊維工業	▲ 23.8	▲ 20.1	▲ 23.8	▲ 30.0	▲ 35.1	▲ 69.4	▲ 63.0	▲ 57.6	▲ 56.2
化学	▲ 1.3	1.4	▲ 8.5	▲ 18.1	▲ 31.0	▲ 53.0	▲ 52.2	▲ 41.1	▲ 33.8
食料品	▲ 26.5	▲ 19.7	▲ 24.7	▲ 27.4	▲ 35.0	▲ 71.4	▲ 56.6	▲ 43.4	▲ 34.2
金属製品	▲ 14.4	▲ 19.1	▲ 17.3	▲ 26.6	▲ 33.4	▲ 58.7	▲ 63.5	▲ 55.9	▲ 42.7
機械器具	▲ 12.6	▲ 19.1	▲ 23.0	▲ 33.0	▲ 42.7	▲ 62.6	▲ 66.0	▲ 60.4	▲ 49.5
電気・情報通信機械器具・電子部品	▲ 25.4	▲ 26.9	▲ 25.5	▲ 24.6	▲ 38.7	▲ 59.6	▲ 60.6	▲ 49.0	▲ 37.7
非製造業	▲ 23.7	▲ 21.0	▲ 21.9	▲ 26.1	▲ 31.8	▲ 63.5	▲ 53.3	▲ 43.1	▲ 39.1
建設業	▲ 11.9	▲ 9.4	▲ 9.0	▲ 11.2	▲ 15.2	▲ 37.2	▲ 32.9	▲ 28.1	▲ 30.5
小売業	▲ 31.7	▲ 30.7	▲ 31.6	▲ 36.4	▲ 39.7	▲ 67.3	▲ 54.7	▲ 44.6	▲ 41.3
サービス	▲ 22.5	▲ 17.8	▲ 19.9	▲ 23.8	▲ 31.7	▲ 70.7	▲ 59.0	▲ 47.3	▲ 40.9

【参考データ】

⑨【中小企業庁】生産設備DI（過剰－不足）

④生産設備DI（過剰－不足）

【中小企業庁】生産設備DI

DI

年	19年				20年			
期	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在
全体	－	－	－	－	－	－	－	－
製造業	▲ 5.1	▲ 5.2	▲ 3.9	▲ 3.2	▲ 1.1	8.2	7.3	4.8
非製造業							－	－
全体	－	－	－	－	－	－	－	－
製造業	▲ 5.1	▲ 5.2	▲ 3.9	▲ 3.2	▲ 1.1	8.2	7.3	4.8
繊維工業	▲ 2.8	▲ 5.0	▲ 0.5	▲ 0.5	2.8	13.7	13.4	14.5
化学	▲ 13.5	▲ 7.1	▲ 4.3	▲ 9.9	0.0	▲ 1.4	8.8	0.0
食料品	▲ 6.2	▲ 7.7	▲ 8.9	▲ 8.4	▲ 6.4	3.4	▲ 1.6	▲ 4.8
金属製品	▲ 5.3	▲ 8.3	▲ 4.8	▲ 1.4	1.2	12.9	11.8	8.7
機械器具	▲ 8.6	▲ 6.4	▲ 5.4	▲ 2.2	▲ 0.5	10.7	10.3	8.5
電気・情報通信機械器具・電子部品	0.6	1.6	4.2	3.8	3.8	7.3	13.3	8.7
非製造業							－	－
建設業	－	－	－	－	－	－	－	－
小売業	－	－	－	－	－	－	－	－
サービス	－	－	－	－	－	－	－	－

【参考データ】

⑩【中小企業庁】従業員数DI（過剰－不足）

⑤従業員数DI（過剰－不足）

【中小企業庁】従業員数DI

DI

年	19年				20年				21年
期	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	現在	見通し
全体	▲ 22.5	▲ 21.6	▲ 21.7	▲ 21.4	▲ 18.1	▲ 1.1	▲ 6.6	▲ 10.9	▲ 7.1
製造業	▲ 21.4	▲ 18.3	▲ 17.5	▲ 15.7	▲ 11.9	10.8	5.2	0.2	▲ 8.3
非製造業	▲ 22.8	▲ 22.7	▲ 23.2	▲ 23.3	▲ 20.2	▲ 5.1	▲ 10.5	▲ 14.6	▲ 6.8
全体	▲ 22.5	▲ 21.6	▲ 21.7	▲ 21.4	▲ 18.1	▲ 1.1	▲ 6.6	▲ 10.9	▲ 7.1
製造業	▲ 21.4	▲ 18.3	▲ 17.5	▲ 15.7	▲ 11.9	10.8	5.2	0.2	▲ 8.3
繊維工業	▲ 19.8	▲ 20.0	▲ 19.7	▲ 12.8	▲ 13.2	14.9	9.6	6.7	▲ 11.4
化学	▲ 21.9	▲ 12.7	▲ 16.6	▲ 11.2	▲ 7.0	2.9	8.7	7.3	1.5
食料品	▲ 21.7	▲ 21.0	▲ 22.0	▲ 20.8	▲ 15.6	7.4	▲ 3.7	▲ 10.8	▲ 7.3
金属製品	▲ 26.4	▲ 24.4	▲ 20.8	▲ 16.9	▲ 12.9	11.9	6.8	▲ 0.2	▲ 6.7
機械器具	▲ 28.5	▲ 20.0	▲ 17.8	▲ 16.3	▲ 12.5	10.8	9.7	5.5	▲ 7.8
電気・情報通信機械器具・電子部品	▲ 9.4	▲ 6.4	▲ 6.8	▲ 4.3	▲ 3.7	16.9	15.0	11.3	▲ 8.2
非製造業	▲ 22.8	▲ 22.7	▲ 23.2	▲ 23.3	▲ 20.2	▲ 5.1	▲ 10.5	▲ 14.6	▲ 6.8
建設業	▲ 39.0	▲ 38.0	▲ 42.3	▲ 41.5	▲ 37.6	▲ 24.3	▲ 28.8	▲ 33.3	▲ 4.4
小売業	▲ 12.7	▲ 12.7	▲ 11.9	▲ 12.0	▲ 11.2	▲ 2.5	▲ 6.2	▲ 8.2	▲ 5.2
サービス	▲ 24.6	▲ 25.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 20.7	▲ 1.1	▲ 8.4	▲ 14.3	▲ 9.2